Panasonic®

取扱説明書

ブルーレイディスク プレーヤー

品番 DMP-BDT900

ブルーレイディスク/DVD関連情報（動作確認情報など）は、パナソニックホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/bd/

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

詳しくは裏表紙をご覧ください

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

保証書別添付

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（ 49 ～52 ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

「安全上のご注意」を必ずお読みください。
（➜49～52ページ）

本書内の表現について
本書内で参照していただくページを (⇨ ○○) で示しています。

もくじ

はじめに

接続

再生

設定

必要なとき

付属品を確認する

リモコン（1 個）
(N2QAYB000513)

映像・音声コード（1 本）
(K2KYYYY00046)

リモコン用乾電池（2 本）
単３形乾電池

電源コード（1 本）
(K2CA2DB00003)

- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 付属品の品番は、2010 年 3 月現在のものです。変更されることがあります。

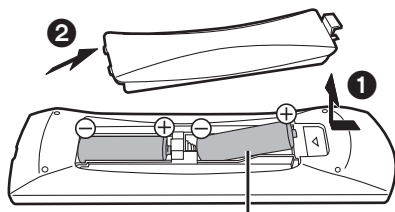
付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

http://club.panasonic.jp/mall/sense/

携帯電話からもお買い求めできます。

http://p-mp.jp/cpm

リモコンの準備

電池を入れてください。

単３形乾電池
（付属）

- ⊕⊖ を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。
- 本機のリモコン受信部 (⇒ 5) に向けて、まっすぐ操作してください。

取り扱いについて

本機の設置場所

- アンプなどの熱源となるものの上に置かない。
- 温度変化が起きやすい場所に設置しない。
- 「つゆつき」が起こりにくい場所に設置する。
- 不安定な場所に設置しない。
- 重いものを上に載せない。

つゆつきについて

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。

- 「つゆつき」が発生しやすい状況
  - ・急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接あたるなど）
  - ・湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
  - ・梅雨の時期
- 「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで（約 2 ～ 3 時間）、**電源を切ったまま放置してください。**

お手入れ

本体

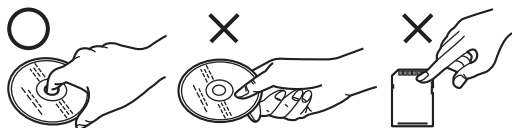
- 電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ディスクをお使いにならない場合は、ディスクをトレイから取り出しておくことをおすすめします。

再生用レンズ

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な再生ができなくなることがあります。
使用環境や使用回数にもよりますが、約 1 年に一度、レンズクリーナー　RP-CL720（別売）でほこりなどの除去をおすすめします。使いかたは、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。

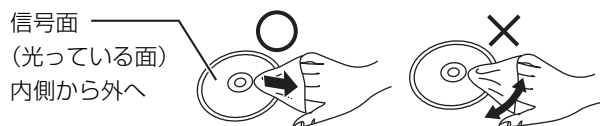
- クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。

ディスクやSDカードの取り扱い

持ちかた

信号面や端子面には手を触れない

ディスクが汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

信号面
（光っている面）
内側から外へ

レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない

- ディスククリーナー（別売）のご使用をおすすめします。
- ディスクが汚れている場合、再生ができないことがあります。

破損や機器の故障防止

次のことを必ずお守りください。

- 落としたり、激しい振動を与えたりしない。
- お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。
- **ディスク**
  - ・シールやラベルをはらない。（ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります）
  - ・印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
  - ・傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
  - ・以下のディスクを使わない。
    - –シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
    - –そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
    - –ハート型など、特殊な形のディスク

- **SDカード**
  - ・SDカード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。

保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしない

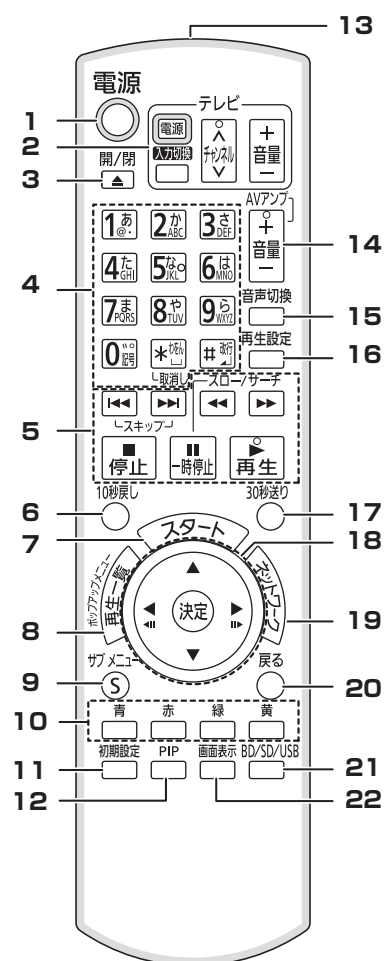
- ほこりの多いところ
- 高温になるところ
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ
- 湯気や油煙の出るところ
- 冷暖房機器に近いところ
- 直射日光のあたるところ
- 静電気・電磁波の発生するところ（大切な記録内容が損傷する可能性があります）

使用後はケースに収めてください。

本機を廃棄／譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する情報が記録されています。廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、お買い上げ時の設定に戻して、記録された情報を必ず消去してください。(⇒ 37、「お買い上げ時の設定に戻すには？」)

- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

各部のはたらき

1 本機の電源 (⇨ 14)

2 テレビ操作部 (⇨ 18)
本機のリモコンでテレビの操作ができます。
[テレビ 電源] : 電源の切 / 入
[入力切換] : 入力切換
[∧ ∨ チャンネル] : チャンネルの切り換え
[テレビ + – 音量] : 音量の調節

3 ディスクトレイを開閉する (⇨ 19)

4 タイトル番号などを選ぶ / 数字や文字を入力する (⇨ 28)
[取消し] : 入力した数値などを取り消す

5 再生時の基本操作 (⇨ 20)

6 約 10 秒前へ戻す (⇨ 21)

7 スタート画面を表示する (⇨ 19)

8 トップメニュー / ポップアップメニュー / 再生一覧画面を表示する (⇨ 20)

9 サブメニューを表示する (⇨ 21)

10 以下のときに使います :
- Java™ アプリケーション (BD-J) を含む BD ビデオを操作するとき
- 「番組一覧」、「アルバム表示」画面を表示しているとき (⇨ 25)
- 「テレビでネット」 のサービスを操作しているとき (⇨ 28)

11 初期設定画面を表示する (⇨ 32)

12 副映像の入 / 切 (⇨ 22)

13 リモコン送信部

14 アンプの音量を調節する (⇨ 18)

15 音声を切り換える (⇨ 21)

16 再生方法を設定する (⇨ 30)

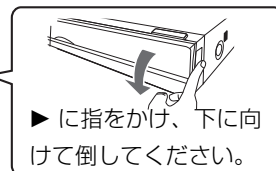
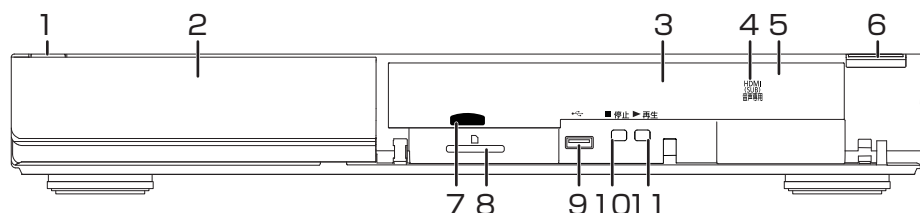
17 約 30 秒先へ飛び越す (⇨ 21)

18 選択 / 決定、コマ送り / コマ戻し (⇨ 21)

19 ネットワーク画面を表示する (⇨ 28)

20 前の画面に戻る

21 ドライブを切り換える (「BD」、「SD」、「USB」) (⇨ 19)

22 再生状態を確認する (⇨ 20)

1 電源を切 / 入する [電源 ⏻/I] (⇨ 14)
本機が操作を受けつけなくなった場合は、3 秒以上押してください。電源が切れます。

2 ディスクトレイ (⇨ 19)

3 本体表示窓
- (ディスク): ディスク挿入時に表示
- SD: SD カード挿入時に表示
- USB: USB 機器接続時に表示

ディスクや SD カード、USB 機器を読み込んでいるときに点滅します。

4 HDMI(SUB) 音声専用 LED
- 点灯・消灯の設定ができます (⇨ 34)

5 リモコン受信部
受信範囲　正面…約 7m 以内
　　　　　左右…各約 30°
　　　　　上下…各約 20°

6 ディスクトレイを開閉する (⇨ 19)

7 SD カード LED
- 点灯・消灯の設定ができます (⇨ 34)

8 SD カードを入れる (⇨ 19)

9 USB 機器を接続する (⇨ 19)

10 停止する (⇨ 20)

11 再生する (⇨ 20)

本機背面の端子については (⇨ 8 ～ 13)

再生できるディスク・SD カード・USB 機器について

本書内の表示	代表的なロゴ	メディアの種類	再生できる内容
BD	Blu-ray Disc	BD ビデオ	市販またはレンタルソフト
		BD-RE	録画番組 JPEG
		BD-R※1	録画番組 DivX®
DVD	DVD VIDEO	DVD ビデオ	市販またはレンタルソフト
	DVD RAM RAM4.7	DVD-RAM	録画番組※2 AVCHD JPEG
	DVD R R4.7	DVD-R	録画番組※2 AVCHD DivX® MP3 JPEG
	DVD R R DL	DVD-R DL	
	DVD R W	DVD-RW	録画番組 AVCHD
	—	+R/+RW/+R DL	
CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音楽 CD	CD-DA 方式に準拠する市販またはレンタルソフト
	—	CD-R CD-RW	DivX® CD-DA 方式に準拠して記録された音楽や音声 MP3 JPEG
SD	SD XC	SD メモリーカード （8 MB ～ 2 GB まで） （miniSD カード、microSD カードを含む） SDHC メモリーカード (4 GB ～ 32 GB まで) （microSDHC カードを含む） SDXC メモリーカード （48 GB、64 GB） （microSDXC メモリーカードを含む）	MPEG2 AVCHD JPEG
USB	—	USB 機器	DivX® MP3 JPEG

※ 1：LTH type (⇨ 48) も再生できます。

※ 2：AVCREC を含みます。

■ 再生できないディスク

下記のディスクや前ページでご紹介していないディスクは再生できません。

- 2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM
- カートリッジから取り出せない DVD-RAM（TYPE1）
- SACD
- Photo-CD
- DVD オーディオ
- ビデオ CD、SVCD
- WMA ディスク
- PAL 方式で記録されたディスク
- HD DVD

■ リージョンコード・番号について

BD ビデオや DVD ビデオには、発売地域別にディスクとプレーヤーに割り当てられたコード・番号があります。

BD ビデオ

本機のコードは「A」です。「A」（または「A」を含むもの）が表示されたディスクを再生できます。
例）

DVD ビデオ

本機の番号は「2」です。「2」（または「2」を含むもの）と「ALL」が表示されたディスクを再生できます。
例）

■ ファイナライズ

DVD-R/RW/R DL や +R/+RW/+R DL 、CD-R/RW を本機で再生するには、記録した機器でファイナライズを行う必要があります。
ファイナライズの方法など、詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

■ BD ビデオ

- 本機と 3D 対応テレビを HDMI ケーブルで接続すると、3D 映像の再生が可能です。
- 本機は BD ビデオの高音質なサラウンド音声 (Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD High Resolution Audio、DTS-HD Master Audio) に対応しています。(⇨ 42)

■ 音楽 CD

- CD-DA 規格に準拠していない CD(コピーコントロール CD など) は、動作および音質の保証はできません。

■ SD カード

- mini タイプ、micro タイプの SD カードは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。
- SD カードにあるスイッチを「LOCK」側にすると、SD カードの内容を誤って消去することを防げます。
- 本機は SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされた SD メモリーカード、FAT32 形式でフォーマットされた SDHC メモリーカード、および exFAT 形式でフォーマットされた SDXC メモリーカードに対応しています。
- 非対応のパソコンや機器で使用すると、カードがフォーマットされるなど記録内容が消去されてしまう場合があります。
- 使用可能領域は、表示容量より少なくなることがあります。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

■ USB 機器

- すべてのUSB機器との接続を保証するわけではありません。
- 本機は USB 機器を充電することはできません。
- 本機は FAT12、FAT16 、FAT32 形式でフォーマットされた USB 機器に対応しています。
- 本機はハイスピード USB（USB2.0 準拠）に対応しています。

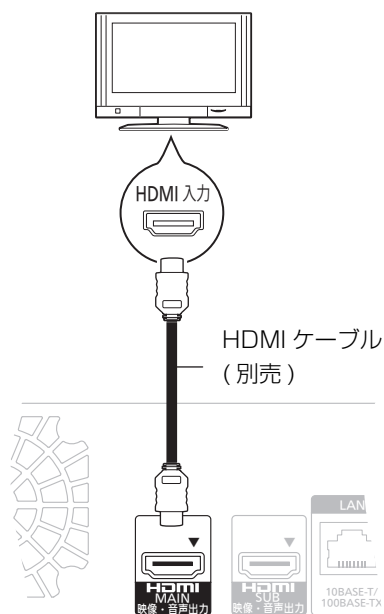
- 使用するディスク、記録状態、記録方法、記録機器やファイルの作りかたにより再生できない場合や操作方法が異なる場合があります。
- ディスク制作者の意図により、本書の記載どおりに動作しないことがあります。ディスクの説明書もご覧ください。

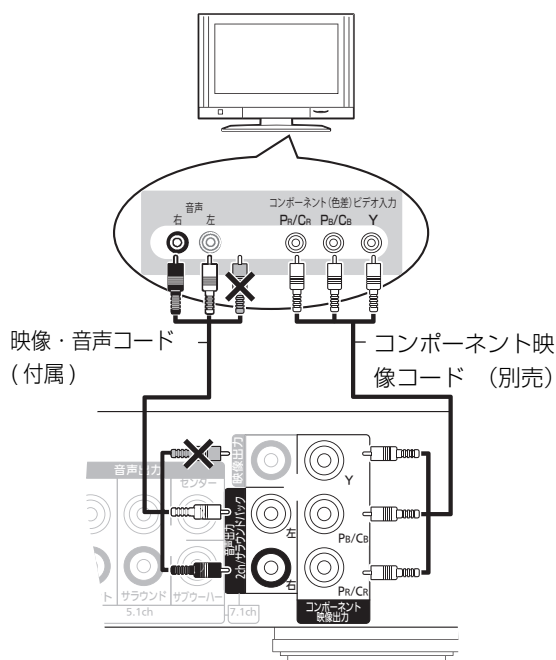
準備１：テレビと接続する

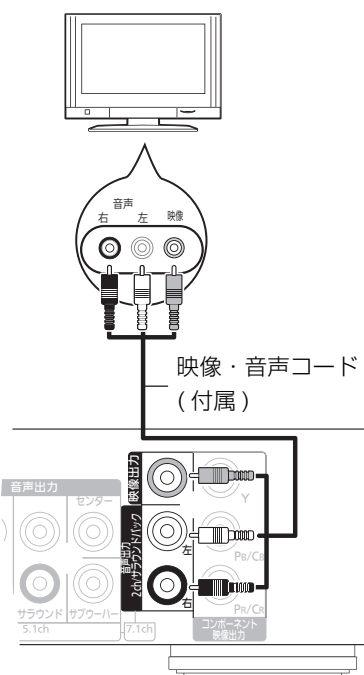
- 本機をアンプなどの熱源となるものの上に置かないでください。
- 接続時は各機器の電源コードをコンセントから抜いてください。各機器の説明書もご覧ください。
- ビデオを経由させて接続しないでください。著作権保護の影響により、映像が乱れることがあります。
- 高音質な音声を楽しむための初期設定について (⇒ 42)
- HDMI ケーブルは 、HDMI ロゴ (⇒ 表紙) のある「High Speed HDMI™ ケーブル」をお買い求めください。
- 当社製 HDMI ケーブルを推奨します。
  品番：RP-CDHS10（1.0 m)、RP-CDHS15（1.5 m)、RP-CDHS20（2.0 m)、RP-CDHS30（3.0 m）など

高画質

■ HDMI(MAIN) 端子に接続する

–テレビが 3D 対応の場合、3D 映像を再生することができます。

- 「HDMI 映像優先モード」と「HDMI 音声出力」を「入」に設定してください。(⇒ 34, 35)
- HDMI(MAIN) 端子での接続は、ビエラリンクに対応しています。(⇒ 27)

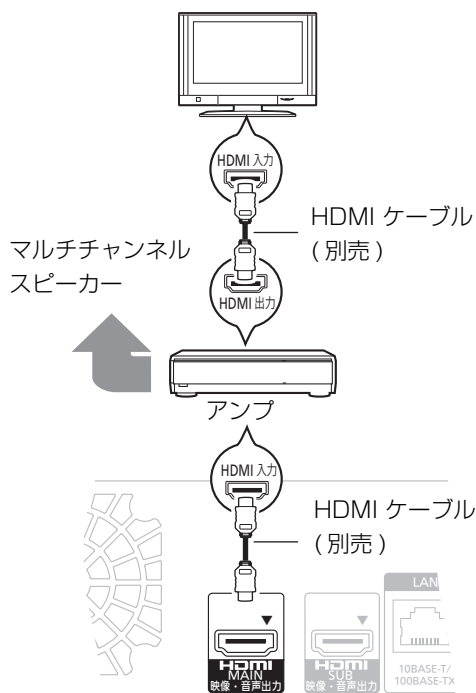
■ コンポーネント映像出力端子に
接続する

- 同じ色の端子に接続してください。
- 「コンポーネント端子出力解像度」を「480p 」、「720p」または「1080i」に設定してください。(⇒ 35)
- 「HDMI 映像優先モード」を「切」に設定してください。(⇒ 34)

■ 映像出力端子に接続する

- 同じ色の端子に接続してください。

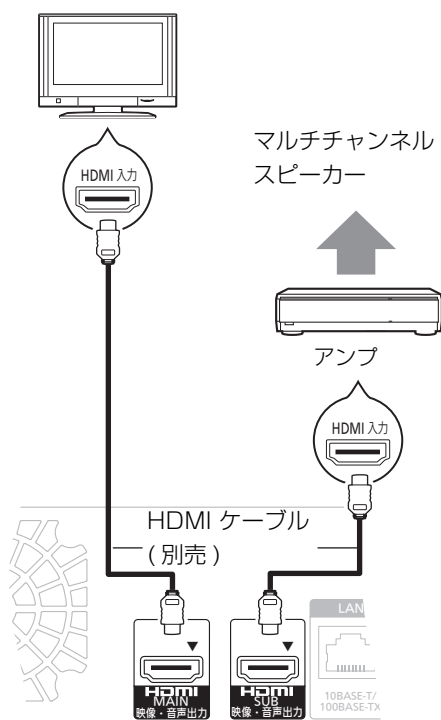
準備 2：アンプと接続する

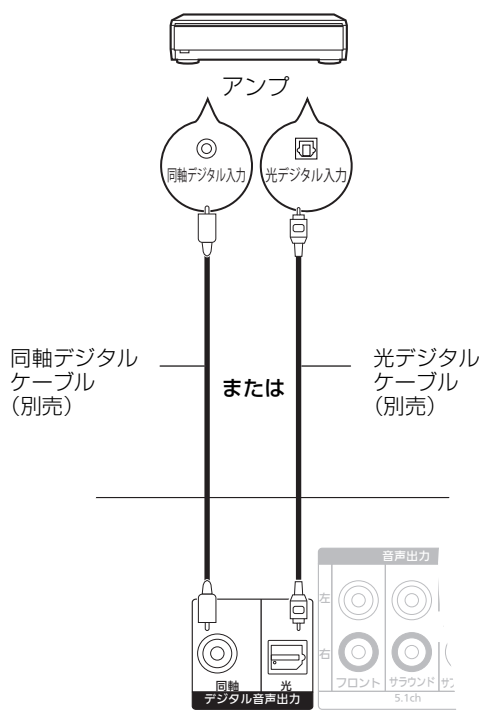
デジタル出力

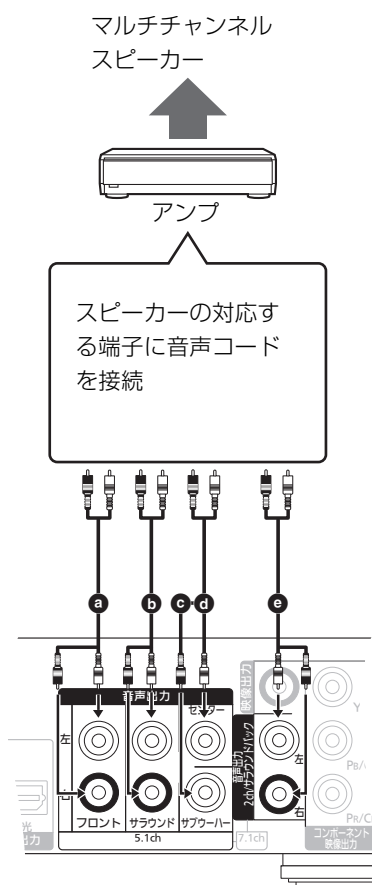
■ HDMI(MAIN) 端子に接続する

–テレビとアンプが 3D 対応の場合、3D 映像を再生することができます。

- 「HDMI 映像優先モード」と「HDMI 音声出力」を「入」に設定してください。(⇨ 34, 35)
- 「デジタル出力」をお使いのアンプに応じて設定してください。(⇨ 33)
- HDMI(MAIN) 端子での接続は、ビエラリンクに対応しています。(⇨ 27)

■ HDMI(MAIN) 端子 と HDMI(SUB) 端子に接続する

–アンプが 3D 非対応でも、テレビが 3D 対応の場合、3D 映像を再生することができます。

- 「HDMI 映像優先モード」と「HDMI 音声出力」を「入」に設定してください。(⇨ 34, 35)
- 「HDMI(SUB) 出力モード」を「音声専用」に設定してください。(⇨ 24)
  - アンプの 3D 対応、非対応に関わらず、音声を高音質で出力します。
- HDMI(MAIN) 端子での接続は、ビエラリンクに対応しています。(⇨ 27)
  HDMI(SUB) 端子はビエラリンクに対応していません。
- 3D 非対応のアンプでビエラリンクをご使用になりたい場合は、本機の HDMI(MAIN) 端子とテレビ、アンプとテレビをそれぞれ HDMI ケーブルで接続してください。
  - ただし、音声は最大で 5.1ｃｈ になります。
  - ARC 非対応アンプの場合は、さらにアンプとテレビを光デジタルケーブルで接続する必要があります。

■ デジタル音声出力端子に接続する

- HDMI 対応テレビに接続している場合は、「HDMI 音声出力」を「切」に設定してください。(⇨ 35)
- 「デジタル出力」をお使いのアンプに応じて設定してください。(⇨ 33)

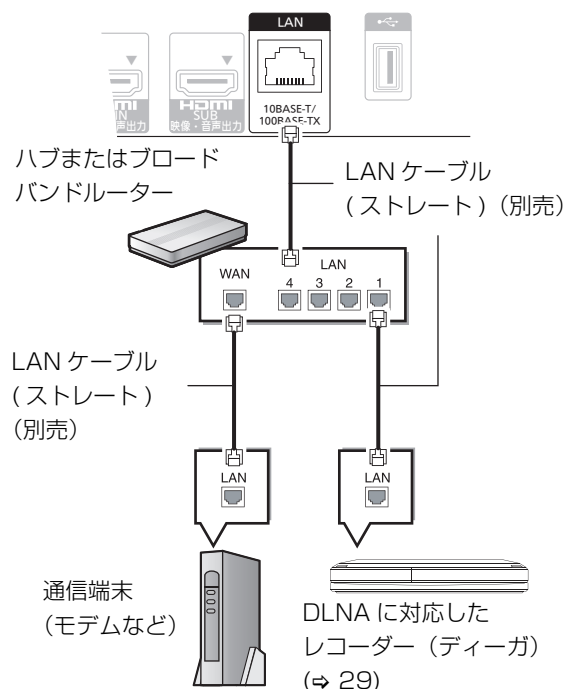
■ 5.1/7.1ch 音声出力 に接続する

ケーブル接続

- ⓐ フロントスピーカー (左 / 右)
- ⓑ サラウンドスピーカー (左 / 右)
- ⓒ サブウーハー
- ⓓ センタースピーカー
- ⓔ サラウンドバックスピーカー (左 / 右)
  (7.1ch 音声出力のみ)

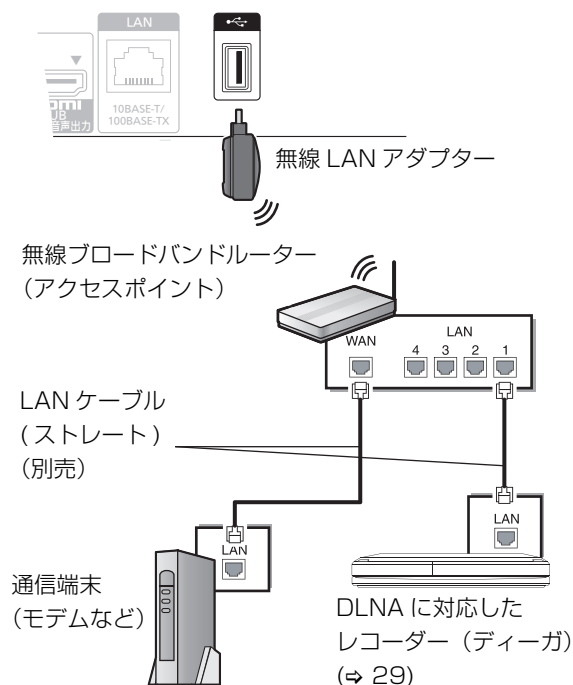
- お使いの端子に応じて、「アナログ音声出力」を「7.1ch」または「2ch(ダウンミックス) + 5.1ch」に設定してください。(⇨ 35)
- かんたん設置設定で「アナログ音声出力」の設定ができます。(⇨ 14)
- HDMI 端子でテレビと接続している場合は、「HDMI 音声出力」を「切」に設定しください。(⇨ 35)

準備３：ネットワーク接続する

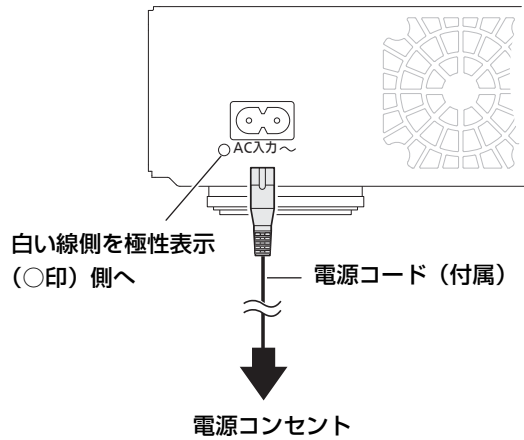
本機をネットワークに接続すると、以下のサービスや、機能を利用することができます。
- ソフトウェアを更新する (⇨ 17)
- BD-Live 対応のディスクを楽しむ (⇨ 22)
- インターネットに接続して動画を楽しむ (⇨ 28)
- 別の部屋の機器の映像を見る (⇨ 29)

さらに詳しい接続のしかたについては、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。
- 使用する機器や接続、通信環境などによってはインターネットにつながらなかったり、正常に動作しないことがあります。
- 本機は公衆無線 LAN への接続には対応しておりません。

■ LAN ケーブルを使う

- シールド付き LAN ケーブルを使用してください。
- LAN ケーブル以外（電話のモジュラーケーブルなど）を挿入しないでください。故障の原因になります。

■ 無線 LAN アダプター DY-WL10（別売）を使う

- 当社製無線 LAN アダプター DY-WL10（別売）以外はご使用できません。DY-WL10（別売）の取扱説明書もよくお読みください。
- 802.11n（2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可）の無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）をお選びください。5 GHz でのご使用をおすすめします。
  2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信がとぎれたりします。また、暗号化方式は「AES」にしてください。
- 動作確認済みの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）については、下記サポートサイトでご確認ください。
  http://panasonic.jp/support/bd/

●ハブやルーターを経由せず、本機と DLNA に対応したレコーダー（ディーガ）を直接接続することもできます。LAN ケーブルはクロスケーブルをお使いください。
●無線 LAN をお使いの場合は、無線 LAN 機器の説明書に従って適切なセキュリティー設定を行ってください。

準備４：電源コードを接続する

節電のために

●電源を切った状態でも、電力を消費しています（「クイックスタート」:「切」約 0.1 W)。長期間使用しないときは、節電のため電源コードをコンセントから抜いておくことをおすすめします。

電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

極性表示について

アンプなどを接続される場合、電源コードの白い線が入っている方を、電源ソケット（AC 入力～）の極性側（○印）と電源コンセントの差し込み口の長い方に合わせて差し込むと良い音質が得られるときがあります。（ご家庭の電源コンセントによっては、差し込み口の一方が長くなっていないものもありますが、その場合はどちらの向きに差し込んでも問題ありません）
テレビでの視聴などの一般的なご使用では、極性を合わせる必要はありません。

準備５：かんたん設定をする

かんたん設置設定をする

お買い上げ後はじめて電源を入れると、基本的な設定を行う画面が表示されます。

準備

テレビの電源を入れ、本機を接続した入力に切り換える（HDMI、ビデオ 1 など）

1 [電源] を押す。

設定画面が表示されます。

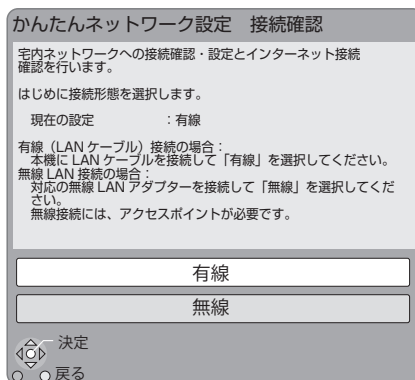
2 画面上の指示に従い、[▲, ▼]、および [決定] を使用して設定を行う。

「かんたん設置設定」を行ったあと、「かんたんネットワーク設定」に進むことができます。

- この設定は「かんたん設置設定」を選ぶことでいつでも実行できます。(⇒ 36)
- アナログ音声端子から 7.1ch で出力したい場合は、「7.1ch」を選んでください。

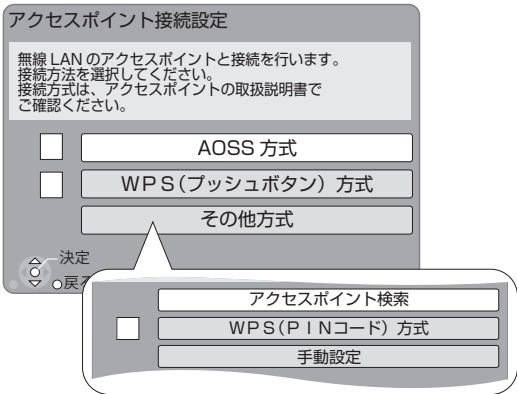
かんたんネットワーク設定をする

「かんたん設置設定」を行ったあと、引き続き「かんたんネットワーク設定」をすることができます。

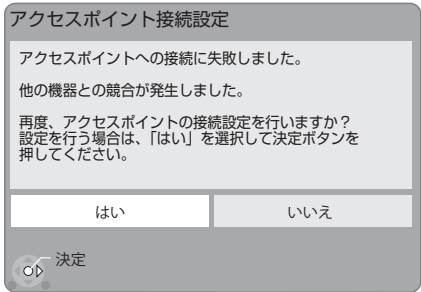
1 「有線」または「無線」を選んで [決定] を押す。

「無線 LAN アダプターが接続されていません。」と表示が出る場合、無線 LAN アダプターが奥までしっかり挿入されているかの確認、または抜き差ししてください。それでも表示が変わらない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

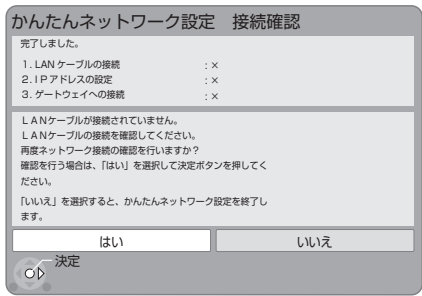
2 画面上の指示に従い、[▲, ▼, ◀, ▶]、および [決定] を使用して設定を行う。

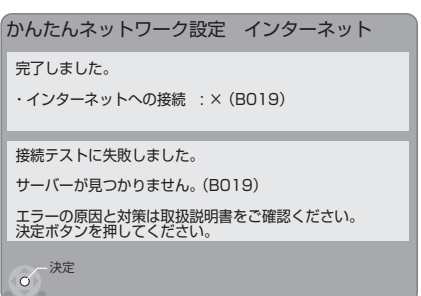
無線接続について

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）が AOSS™ や WPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応している場合は、「AOSS 方式」または「WPS（プッシュボタン）方式」を選ぶと、かんたんに設定することができます。
また「その他方式」を選んだあと、「アクセスポイント検索」や「手動設定」を選ぶと、手動で設定できます。

- AOSS™、WPS とは、無線 LAN 機器との接続やセキュリティーに関する設定をかんたんに行うことができる機能です。お持ちの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）が対応しているかどうかは、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

ネットワーク接続で失敗したときは

アクセスポイントへの接続に失敗

表示	ここを確認してください
他の機器との競合が発生しました。	● しばらく待ってから、再度実行してください。
タイムアウトエラーが発生しました。	● 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）側の MAC アドレスなどの設定 ● 電波が弱いことが考えられます。無線 LAN アダプターに付属の延長用 USB ケーブルを使って、無線 LAN アダプターの位置を調節してください。 ● アクセスポイント接続設定の SSID※や暗号化キー ● しばらく待ってから、再度実行してください。
認証エラー、またはタイムアウトエラーが発生しました。	
デバイスエラーが発生しました。	● 無線LANアダプターの接続を確認してください。再度設定しても失敗する場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
アクセスポイントに接続中の機器数が上限に達したため接続できません。	● 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）に接続している機器の数を減らしてください。

ネットワーク接続に失敗

表示	ここを確認してください
1. LAN ケーブルの接続 または アクセスポイントへの接続　：× 2. IP アドレスの設定　：× 3. ゲートウェイへの接続　：×	● LANケーブル の接続 (⇨ 12)
1. LAN ケーブルの接続 または アクセスポイントへの接続　：○ 2. IP アドレスの設定　：× 3. ゲートウェイへの接続　：×	● ハブやルーターの接続と設定 ●「IP アドレス / DNS 設定」の設定 (⇨ 35)
1. LAN ケーブルの接続 または アクセスポイントへの接続　：○ 2. IP アドレスの設定　：宅内使用可 3. ゲートウェイへの接続　：×	
1. LAN ケーブルの接続 または アクセスポイントへの接続　：○ 2. IP アドレスの設定　：○ 3. ゲートウェイへの接続　：×	

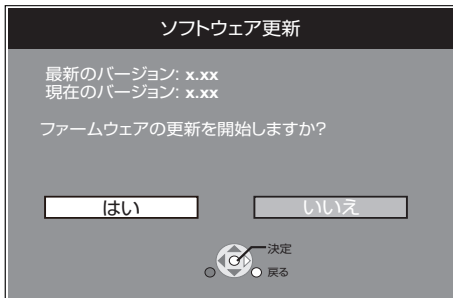
インターネット接続に失敗

表示	ここを確認してください
サーバーが見つかりません。(B019)	●「IP アドレス /DNS 設定」(⇨ 35) の「プライマリ DNS」、「セカンダリ DNS」の設定
サーバーへの接続に失敗しました。(B020)	● サーバーの混雑やサービスの停止の可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください ●「プロキシサーバー設定」(⇨ 36) やルーターなどの設定

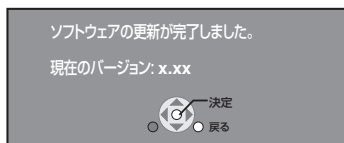
- ハブやルーターについてはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。
- 「かんたんネットワーク設定」(⇨ 35) を選んでネットワーク設定をやり直すことができます。
- 「ネットワーク通信設定」(⇨ 35) で、それぞれの項目を設定し直すこともできます。
- お部屋ジャンプリンク（DLNA）機能 (⇨ 29) をご利用になるには、802.11n（5 GHz）をお使いの上、暗号化方式を「AES」にしてください。暗号化についてはお使いの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の取扱説明書をご覧ください。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。無線ネットワーク環境の自動検索時に利用権限のない無線ネットワーク（SSID※）が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
- 本機とネットワーク設定を行うと、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の暗号化方式などが変更されることがあります。お持ちのパソコンがインターネットに接続できなくなった場合は、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の設定に従って、パソコンのネットワークの設定を行ってください。
- 暗号化せずにネットワーク接続すると、第三者に不正に侵入されて通信内容を盗み見られたり、お客様の個人情報や機密情報などのデータが漏えいするなどのおそれがありますので、十分お気をつけください。

※ 無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。このSSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

ソフトウェアの更新

動作の改善や、新機能の追加のために、当社は本機のソフトウェアを随時更新しています。

本機をネットワーク接続している場合、本機の電源を入れたときに自動的にソフトウェアのバージョンを確認します。
最新になっていない場合、下記の画面が表示されます。

ソフトウェアの更新中は他の操作はできません。また、故障の原因となりますので、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機の電源を切ったりしないでください。

- 更新が完了すると、本体表示窓に「FINISH」が表示されます。本機は再起動して、下記の画面を表示します。

- ソフトウェアの更新は「ソフトウェア更新」を選ぶことでいつでも実行できます。(⇨ 36)
- **ソフトウェアの更新に失敗した場合や本機がインターネットに接続されていない場合は、下記の WEB ページから最新のソフトウェアをパソコンにダウンロードすることができます。CD-R にコピーした後、本機に入れることでソフトウェアを更新することができます。**
  http://panasonic.jp/support/bd/
  ソフトウェアのバージョンを確認するには (⇨ 36、バージョン情報)
- 更新は数分かかります。お使いの環境により、さらに時間がかかったり、インターネット接続ができなくなる場合があります。
- 本機の電源を入れたときに最新のソフトウェアかどうかの確認を行わない場合は、「ソフトウェアの自動更新確認」を「切」に設定してください。(⇨ 36)

準備6：リモコン設定をする

複数の当社製機器を使う

当社製機器のほとんどが共通したリモコン方式を採用しているため、再生などの操作をすると、本機以外の別の機器にも影響してしまうことがあります。
このときは「リモコンモード」を変えてください。
(⇨ 36)

テレビとアンプ操作の設定

本機のリモコンを使用して、テレビやアンプの操作ができます。

1 テレビの場合

[テレビ 電源] を押しながら、数字ボタンで 2 けたのコード (⇨ 41) を入力する

アンプの場合

[AV アンプ − 音量] を押しながら、数字ボタンで 2 けたのコード (⇨ 41) を入力する
例) 01: [0] ⇨ [1]

2 テレビの電源を切 / 入したりアンプの音量調節ができるか確認する

- ご使用のテレビやアンプのメーカーコードが一覧表に複数記載されている場合は、正しく動作するものを選んでください。

ディスク・SD カード・USB 機器を入れる

- メディアを正しい向きに挿入してください。
- 本体表示窓の [ディスク] [SD] [USB] が点滅中は、読み込み・書き込みを行っています。本体の故障やメディアの破壊防止のため、点滅中に電源を切ったり、メディアを取り出したりしないでください。
- SD カードを取り出すには、SD カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出してください。
- 当社製機器と USB 接続ケーブルで接続した場合、接続機器側の設定を行ってください。

■ ドライブを切り換えるには

[BD/SD/USB] を押す

押すごとに切り換わります。

- 停止中にメディアを入れると、ドライブは自動的に切り換わります。

スタート画面について

スタート画面から本機の主な機能を操作することができます。

[▲, ▼] で項目を選び、[決定] を押す

項目		説明
再生する		メディアを再生します。
トップメニュー		(⇨ 20)
メニュー		(⇨ 20)
写真を見る		(⇨ 25)
動画を見る		(⇨ 20)
音楽を聴く		(⇨ 26)
ネットワーク		「テレビでネット」のポータルサイト画面や「お部屋ジャンプリンク (DLNA)」を表示します。(⇨ 28、29)
BD/DVD/CD へ		再生するドライブを切り換えます。
SD へ		再生するドライブを切り換えます。
USB へ		再生するドライブを切り換えます。
その他の機能へ	**プレイリスト再生**	プレイリストを再生します。
	初期設定	(⇨ 32)
	カード管理	(⇨ 22)

画面を消すには

[スタート] を押す

- メディアによって表示される項目は、異なります。
- スタート画面が表示されない場合は、[スタート] を押してください。

接続

再生

映像を再生する

BD DVD CD SD USB

準備

テレビの電源を入れ、本機を接続した入力に切り換えてください。

1 [電源] を押して本機の電源を入れる

2 メディアを入れる

再生が始まります。

- メニュー画面が表示されたときは、[▲, ▼, ◀, ▶] で項目を選び、[決定] を押してください。
- 3D 映像対応のソフトを再生時にメッセージ画面が表示された場合は、画面の指示に従って再生してください。
- 再生が始まらない場合は、[▶ 再生] を押してください。

■ メニュー画面を表示するには

トップメニュー / 再生一覧 / ポップアップメニューを表示することができます。

[ポップアップメニュー / 再生一覧] を押す

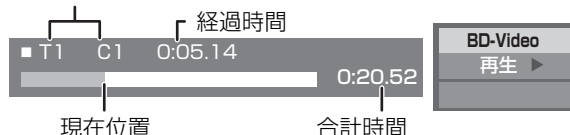
- [▲, ▼, ◀, ▶] で項目を選び、[決定] を押してください。
- ポップアップメニューは [サブ メニュー] を押し、「ポップアップメニュー」を選んで表示させることもできます。

■ 再生状態を確認するには

再生中に、[画面表示] を押す

現在の再生状態の情報を表示します。押すたびに情報が切り換わります。

例）BD ビデオ

T: タイトル、C: チャプター、PL: プレイリスト

- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは [■ 停止] を押して停止させてください。
- メディアやその内容によっては、画面の表示が異なったり、表示されない場合があります。
- DivX: 連続して再生できません。
- ハイビジョン動画（AVCHD）とハイビジョン画質の番組が混在したディスクの場合、ハイビジョン動画（AVCHD）再生時は「AVCHD 優先モード」を「入」に、ハイビジョン画質の番組再生時は「切」にしてください。(⇨ 32)
- パソコンでメディアにドラッグ＆ドロップやコピー＆ペーストした AVCHD や MPEG2 は再生することができません。

再生中のいろいろな操作

メディアや内容によっては機能しないものもあります。

停止

[■ 停止] を押す

停止位置を記憶します。

続き再生メモリー機能

[▶ 再生] を押すと停止位置から再生が始まります。

- 記憶された停止位置は下記の場合、解除されます。
  - [■ 停止] を数回押して本体表示窓に「STOP」が表示された場合
  - ディスクトレイを開けた場合
  - 電源「入」時に、停電になったり電源コードが抜けるなどで電源が切れた場合
- **BD-J(⇨ 48) が含まれる BD ビデオは、続き再生メモリー機能が働きません。**

一時停止

[❚❚ 一時停止] を押す

- もう一度 [❚❚ 一時停止] を押す、または [▶ 再生] を押すと、再生を再開します。

早送り・早戻し / スロー再生

早送り・早戻し

再生中に [◀◀] または [▶▶] を押す

- MP3/ その他の音楽： 1 段階の速度のみ。音声は出ません。

スロー再生

一時停止中に [◀◀] または [▶▶] を押す

- BD ビデオ /AVCHD: 送り方向 [▶▶] のみ。

押すたびに、または押したままにすると、速くなります (5 段階)。

- [▶ 再生] で通常再生に戻ります。

スキップ

再生中または一時停止中に [|◀◀] または [▶▶|] を押す

押した回数だけタイトル、チャプター、またはトラックを飛び越します。

３０秒先へ飛び越す

[３０秒送り] を押す

押すごとに、約３０秒先へ飛び越して再生します。

- DVD ビデオ / ファイナライズした DVD：できません。

１０秒前へ戻す

[１０秒戻し] を押す

押すごとに、約１０秒前に戻して再生します。

- DVD ビデオ / ファイナライズした DVD：できません。

コマ送り / コマ戻し

一時停止中に [◀] (◀❚❚) または [▶] (❚❚▶) を押す

- 押し続けると連続してコマ送り（戻し）します。
- [▶ 再生] で通常再生に戻ります。
- BD ビデオ /AVCHD: コマ送り [▶] (❚❚▶) のみ。

音声を切り換える

[音声切換] を押す

音声言語 (⇨ 30、音声情報）などを変更することができます。

再生時の便利な機能

1 [サブ メニュー] を押す

2 項目を選んで、[決定] を押す

「再生一覧」画面表示中の機能

内容確認	番組情報 (記録日など) を表示します
チャプター一覧へ	チャプターを選びます
写真へ	写真 (JPEG) を再生します (⇨ 25)
フォルダ選択	別のフォルダから再生します

再生時の機能

画面モード切換	画面の上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します
トップメニュー	トップメニューを表示します
ポップアップメニュー	ポップアップメニューを表示します
メニュー	メニューを表示します

- 再生するメディアやその内容によっては、「画面モード切換」が働かない場合があります。
- 「TV アスペクト」(⇨ 34) が「パン ＆ スキャン」または「レターボックス」に設定されている場合、「画面モード切換」の「ズーム」は効果がありません。

- メディアやその内容によって、表示される項目は異なります。

BONUSVIEW や BD-Live 対応の BD ビデオを楽しむ

BONUS*VIEW* ™ とは

BONUS*VIEW* ™ 対応ディスクでは、ディスクに記録された本編以外に、映画監督のコメントや同時進行のサブストーリーを再生したり、別アングル映像などの BD ビデオの副映像が楽しめます。

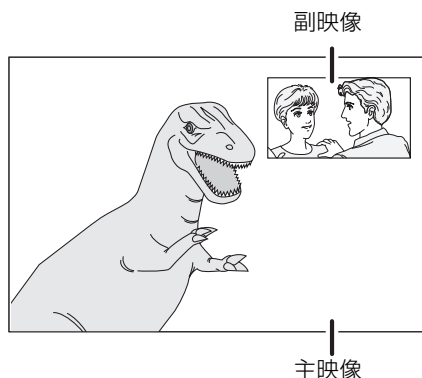
BD-Live とは

BD-Live 対応ディスクでは、BONUS*VIEW* ™ の機能に加え、インターネットに接続して字幕や特典映像、ネットワーク対戦ゲームなどのさまざま機能を楽しむことができます。

- お楽しみいただける機能や再生方法などはディスクによって異なります。
  詳しくはディスクに添付の説明書をご覧ください。

副映像のあるディスクを楽しむ

副映像を表示 / 非表示する

[PIP] を押す

副音声を出す / 消す

「副映像」の「音声情報」を「入 / 切」する (⇨ 30、[再生設定] を押して、「ディスク」⇨「信号切換」)

- 早送り・早戻し / スロー再生またはコマ送り・コマ戻し中は、主映像のみ再生されます。
- 「BD ビデオ副音声・操作音」が「切」(⇨ 33) の場合は副音声は再生されません。

インターネットを使って BD-Live 対応ディスクを楽しむ

インターネットに接続して BD-Live コンテンツを利用するには、アカウントを取得する必要がある場合があります。アカウントの取得方法は、ディスクの画面表示や説明書に従ってください。

1 インターネットに接続する (⇨ 12)

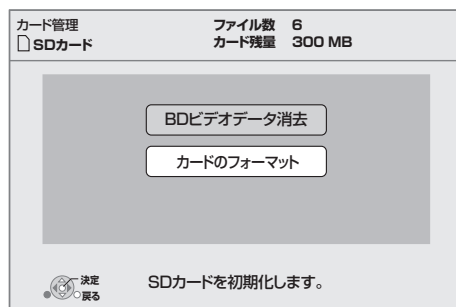
2 1 GB 以上の残量がある SD カードを入れる

ローカルストレージに SD カードを利用します。

3 ディスクを入れる

■ SDカードのフォーマット/データの消去

BD ビデオには SD カードにデータをコピーすること（ローカルストレージ）によりお楽しみいただけるさまざまな機能があります。SD カードに記録されたデータが必要ない場合は、下記の操作で削除することができます。

① SD カードを入れる
② [スタート] を押す
③ [▲, ▼] で「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す
④ [▲, ▼] で「カード管理」を選び、[決定] を押す
⑤ [▲, ▼] で「B D ビデオデータ消去」または「カードのフォーマット」を選び、[決定] を押す

⑥ [◄, ►] で「はい」を選び、[決定] を押す
⑦ [◄, ►] で「実行」を選び、[決定] を押す

- BD-Live をお楽しみいただくために、本機で SD カードをフォーマットすることをおすすめします。
  ただし、フォーマットすると、SD カードに記録されているすべてのデータは削除され、元に戻すことができません。
- ディスクによっては、「BD-Live インターネット接続」の設定を変更する必要があります。(⇨ 32)
- BD-Live 対応ディスクは再生中に、プレーヤーやディスクの識別 ID をインターネット経由でコンテンツプロバイダに対して送信することがあります。

DivX ビデオを再生する

DivX ビデオについて :

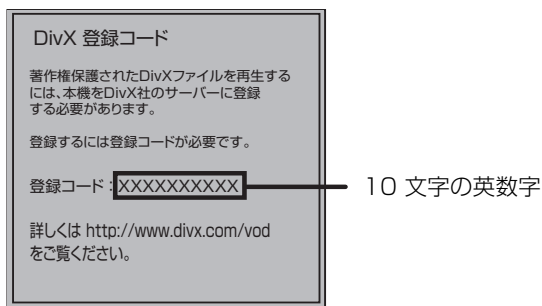
DivX® は DivX, Inc. が開発したデジタルビデオフォーマットです。本機は DivX ビデオを再生する公式 DivX Certified 機器です。
詳細やファイルを DivX ビデオに変換するためのソフトウェアについては www.divx.com をご覧ください。

DivX ビデオ・オン・デマンドについて :

DivX Certified® 機器は DivX ビデオ・オン・デマンド (VOD) のファイルを再生するために登録が必要です。
本機の初期設定で DivX ビデオ・オン・デマンド (VOD) の項目を表示して、登録コードを確認してください。
登録コードを使って登録したり、DivX ビデオ・オン・デマンド (VOD) について知るためには、vod.divx.com にアクセスしてください。

- USB 機器に記録された著作権保護されている DivX ファイルの映像は、HDMI 接続時のみ出力されます。

本機の登録コードを表示する

(⇒ 36、「設置」の「DivX 登録コード」)

- 初めて DivX ビデオ・オン・デマンド (VOD) ファイルを再生した後、登録コードは表示されなくなります。
- 本機の「DivX 登録コード」に表示されるコードと異なるコードで購入したファイルは再生できません。
(「DivX(R) VOD 認証エラー」が表示されます)

本機の登録を解除する

(⇒ 36、「設置」の「DivX 登録コード」)

「DivX 登録コード」で [◀, ▶] を押して「はい」を選んでください。
www.divx.com で登録を解除するときに、表示された登録解除コードを使用してください。

再生回数が限定された DivX ビデオ・オン・デマンド (VOD) ファイルについて

DivX ビデオ・オン・デマンド (VOD) ファイルの中には、ファイルごとに再生回数に制限のあるものがあります。これらのファイルを再生しようとすると、すでに再生された回数と再生可能な総回数を表示します。

- 残り再生回数は、番組を再生するたびに減ります。ただし、続き再生メモリー機能により前回の停止位置から再生する場合には残り再生回数は減りません。

3D 映像を楽しむ

BD

3D 対応テレビと HDMI ケーブルで接続すると、市販の 3D 映像ソフトを臨場感にあふれた、迫力のある映像でお楽しみいただけます。

※イラストはイメージ図です。

準備

本機の HDMI(MAIN) 端子と 3D 対応テレビを、HDMI ケーブルで接続する (⇨ 10)

- テレビ側で必要な準備を行ってください。

再生方法は、通常ディスクと同様です (⇨ 20)

- 表示される画面の指示に従って、再生を行ってください。

3D 再生に関する設定

必要に応じて下記の設定を行ってください。

3D ディスクの再生方法	3D ディスクを 2D（従来の映像）再生することもできます。(⇨ 32)
3D 方式設定	正しく 3D 再生できない場合に、接続しているテレビの方式に合わせて設定を変更します (⇨ 34) ●「サイドバイサイド」の場合は、テレビ側でも 3D の設定を切り換えてください。
HDMI(SUB) 出力モード	HDMI(SUB) 端子にアンプを接続している場合 (⇨ 10)、「音声専用」(⇨ 34) にしてください。 ● 本体表示窓の“HDMI(SUB) 音声専用”が点灯します。(⇨ 34)
3D ディスク再生時の注意表示	3D 視聴の注意画面を表示しないようにすることができます。(⇨ 32)
画面表示の飛び出し量	再生設定画面などの飛び出し量を変更することができます。(⇨ 31)

- 接続しているテレビによっては、再生中の映像が解像度などの変化のため、2D 映像に切り換わることがあります。テレビ側の 3D 設定をご確認ください。
- 3D 映像は、「HDMI 出力解像度」(⇨ 34) や「24p 出力」(⇨ 35) の設定どおりに出力されない場合があります。
- 3D をお楽しみいただける、サイドバイサイド（2 画面構成）などの放送を記録したディスクの再生は、左記の設定（「HDMI(SUB) 出力モード」を除く）に関係なく、テレビ側の 3D 設定に従って再生されます。
  ・再生設定などの画面表示は正しく表示されません。

写真（JPEG）を再生する

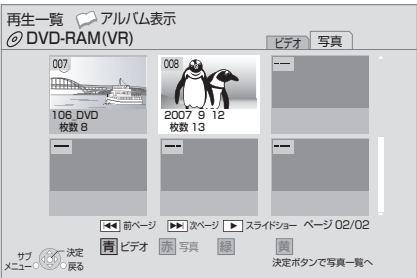
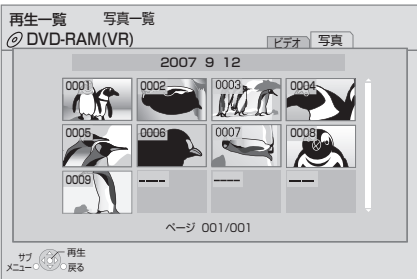
BD DVD CD SD USB

(対応メディア：BD-RE、DVD-RAM/-R/-R DL、CD-R/RW、SD カード、USB 機器)

1 ディスクまたは SD カードを入れる / USB 機器 を接続する

メニュー画面が表示された場合は、[▲, ▼] で項目を選び、[決定] を押してください。

2 BD-RE、DVD-RAM

[▲, ▼, ◀, ▶] でアルバムを選び、[決定] を押す

3 [▲, ▼, ◀, ▶] で写真を選び、[決定] を押す

前後の写真を表示するには、[◀, ▶] を押してください。

画面を消すには

[ポップアップメニュー / 再生一覧] を押す

■ 写真（JPEG）情報の表示

再生中に [画面表示] を 2 回押す

例）DVD-RAM に記録した JPEG

撮影日

もう一度 [画面表示] を押すと表示が消えます。

写真再生時の便利な機能

1 [サブ メニュー] を押す

2 項目を選んで、[決定] を押す

「アルバム表示」または「写真一覧」画面表示中の機能

スライドショー開始	一定の時間間隔で 1 枚ずつ写真を表示します
スライドショー設定	**表示間隔** 表示間隔を変更します **表示効果** 表示効果を設定します **リピート再生** スライドショーを繰り返します **BGM** スライドショー再生中に、USB 機器に記録された MP3 や音楽 CD を BGM として再生します **BGM フォルダ選択** USB 機器から再生する場合、再生するフォルダを選びます **[▲, ▼, ◀, ▶] で「確定」を選び、[決定] を押す**
上位フォルダ選択	別の上位フォルダを選びます ● 上位フォルダに写真を含むフォルダが複数ある場合のみ
フォルダ選択	別のフォルダを選びます
ビデオへ	番組を再生します (⇨ 20)
アルバム表示へ	アルバムを表示します

再生時の機能 （スライドショー再生時を除く）

右 90° 回転	写真（JPEG）を回転します
左 90° 回転	写真（JPEG）を回転します
縮小	写真を縮小します ● 本機は小さいサイズの写真を拡大して表示する場合があります。拡大された写真を元のサイズで表示することができます
拡大	「縮小」を取り消します

- メディアやその内容によって、表示される項目は異なります。
- 大きな画素数の写真を再生すると、表示間隔が長くなることがあります。設定を変更しても、表示間隔は短くなりません。
- 本機に音楽 CD と USB 機器を挿入した場合、BGM は音楽 CD が選ばれます。

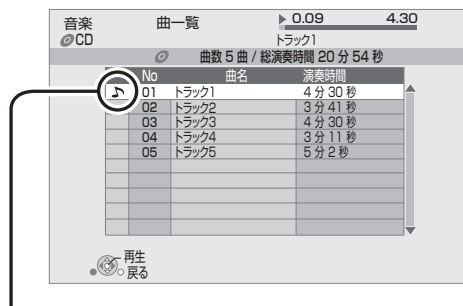
音楽を再生する

DVD **CD** **USB**

(対応メディア：DVD-R/-R DL、音楽 CD、CD-R/RW、USB 機器)

1 ディスクを入れる / USB 機器 を接続する

メニュー画面が表示された場合は、[▲, ▼] で項目を選び、[決定] を押してください。

2 [▲, ▼] で曲を選び、[決定] を押す

「 ♪ 」は現在再生中の曲を示しています。

■ 別のフォルダの曲を再生する

1 「曲一覧」画面を表示中に [サブ メニュー] を押す

2 [▲, ▼] で「フォルダ選択」を選び、[決定] を押す

📖

- 再生できる MP3 が入っていないフォルダは選べません。

ビエラリンク（HDMI）を使う

ビエラリンク（HDMI）（HDAVI Control™）とは

本機と HDMI ケーブル（別売）を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン１つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
※すべての操作ができるものではありません。

- HDMI(SUB) 端子に接続している機器では操作できません。

準備

① 「ビエラリンク制御」を 「入」にする (⇒ 35)
(お買い上げ時の設定は「入」です)
② 接続した機器側（テレビなど）で、ビエラリンク制御が動作するように設定する
③ すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切/入したあと、テレビの入力を HDMI 入力に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する。
（接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください）

入力自動切換え / 電源オン連動

下記の操作を行うと、テレビが連動し、それぞれの画面が現れます。
– 本機で再生を開始したとき
– メニュー画面が表示される操作を行ったとき
([スタート] や [ポップアップメニュー / 再生一覧] を押したときなど)

- 「HDMI(SUB) 出力モード」が「ノーマル」に設定されていて HDMI(SUB) 端子に接続している機器の電源が「入」の場合、HDMI(MAIN) 端子に接続した機器との間で電源オン連動は働きません。

電源オフ連動

リモコンを使ってテレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。

- ビエラと本機の「ECO スタンバイ」が「入」のとき、本機の待機時消費電力を少なくすることができます。
(⇒ 35)

テレビの電源を切って音楽の再生を続ける

ビエラリンク (HDMI) 対応のテレビ (ビエラ) とアンプを接続し、ビエラリンク (HDMI) を使っている場合、連動操作をするためテレビ (ビエラ) の電源を切ると本機の電源も切れます。ただし、接続したテレビ (ビエラ) がビエラリンク (HDMI)Ver.2 以降対応の場合、以下の操作で、音楽再生を続けることができます。

① 音楽再生中に
[サブ メニュー] を押す
② [▲, ▼] で「TV のみ電源 OFF」を選び、[決定] を押す

音楽の再生を止めるには

[戻る] を数回押す

テレビのリモコンで本機を操作

ビエラリンク (HDMI)Ver.2 以降に対応したビエラのみ
テレビのリモコンで、本機の操作ができます。

1 [サブ メニュー] を押す

2 項目を選び、[決定] を押す

- 「再生操作パネル」を選ぶと、早送り・早戻し、停止などの操作ができます。

- BD ビデオまたは DVD ビデオのトップメニュー表示中は [サブ メニュー] を押しても働かない場合があります。
- 音楽再生時は「再生操作パネル」は表示されません。画面表示に従って操作してください。
- ビエラリンク (HDMI)Ver.4 以降に対応したビエラと接続している場合、「プレーヤー」の項目を選択後、本機のスタート画面を表示することができます。

再生

- お使いになれるボタンはテレビにより異なります。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。
- テレビのリモコンの対応していないボタンを押すと、本機の操作が中断されることがあります。
- 本機はビエラリンク (HDMI)Ver.5 に対応しています。
  ビエラリンク (HDMI)Ver.5 とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。(2009 年 12 月現在)
- ビエラリンク（HDMI）は、HDMI CEC(Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。
- ビエラリンク (HDMI) に対応した他社製品については、その製品の説明書をご確認ください。
- お使いのテレビやアンプがビエラリンク (HDMI) 対応かわからないときは、機器にビエラリンク (HDMI)のロゴマーク (⇨ 下記）が付いているかをお確かめになるか、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

VIERA Link

テレビでインターネットを楽しむ

本機をインターネットに接続して動画共有サイトのサービスを楽しむことができます。

- 動画共有サイトのサービスで利用できるサービスの内容や利用条件については、別途ポータルサイトにてご確認ください。

準備

- ネットワーク接続と設定をする (⇨ 12, 14)

1 [ネットワーク] を押す

2 [▲, ▼] で「テレビでネット」を選び、[決定] を押す

- 「テレビでネット」のポータルサイト画面が表示されます。
- 暗証番号の入力画面が表示されたら (⇨ 36)

3 [▲, ▼, ◄, ►] で項目を選び、[決定] を押す

- リモコンの以下のボタンで操作ができます。
  [▲, ▼, ◄, ►]、[決定]、[戻る]、色ボタン、数字ボタンなど
  数字ボタンを使って、文字を入力することができます。

画面を消すには

[ネットワーク] を押す

- ネットワーク画面が表示されます。

- 「テレビでネット設定」(⇨ 36) で、以下を変えることができます。
  - 「テレビでネット」の視聴制限
  - ひずんだ音声
- 低速のインターネットサービスをお使いの場合、映像が正しく表示されない場合があります。「テレビでネット」使用時は、6 Mbps の高速インターネットサービスをおすすめします。
- ソフトウェアの更新のお知らせが画面上に表示された場合は、ソフトウェアを更新してください。(⇨ 17)
  更新を行わない場合、「テレビでネット」をご利用できなくなります。
- 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。

別の部屋の機器の映像や写真を見る [お部屋ジャンプリンク（DLNA）]

本機でネットワークに接続した当社製 DLNA 対応レコーダー（ディーガ）に保存された映像や写真を楽しむことができます。

- 対応するディーガについては、下記サイトをご覧ください。
  http://panasonic.jp/support/bd/
- ディーガの操作については、ディーガの取扱説明書をご覧ください。

準備

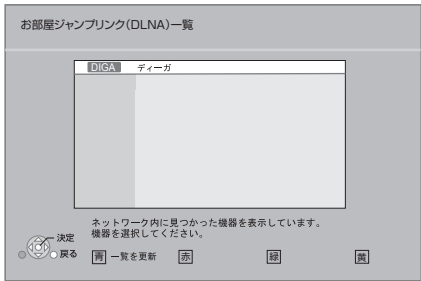
- ネットワーク接続と設定をする (⇨ 12, 14)
- ディーガ側の「お部屋ジャンプリンク (DLNA)」または「ビエラリンク（LAN)」で、本機を登録する
  （本機の操作を必要とするメッセージが表示されたときは、下記の手順 1 ～ 4 の操作を行ってください）

1 **[スタート] を押す**

2 **[▲, ▼] で「ネットワーク」を選び、[決定] を押す**

3 **[▲, ▼] で「お部屋ジャンプリンク (DLNA)」を選び、[決定] を押す**

- ネットワーク接続しているディーガの一覧が表示されます。
- リモコンの [青] を押すと、一覧を更新することができます。

例）

4 **[▲, ▼] でディーガを選び、[決定] を押す**

- 選んだディーガの画面が表示されます。
  以降の操作については、ディーガの取扱説明書をご覧ください。

📖

- ディスクまたは音楽を再生することはできません。また接続しているディーガによっては、写真を再生することはできません。
- 画面上で灰色表示されている項目は、本機で再生できません。
- 接続したディーガから本機を再生することはできません。
- 本機とディーガ間の接続環境によっては、再生中に映像が途切れたり、再生できないことがあります。

写真を再生するときの便利な機能

ディーガに保存された写真を再生するときに以下の操作が行えます。

一覧画面表示中

① [サブ メニュー] を押す
② 項目を選び、[決定] を押す

写真スライドショー開始	一定の時間間隔で 1 枚ずつ写真を表示します。
写真スライドショー設定	**表示間隔** 表示間隔を変更します。 **リピート再生** スライドショーを繰り返します。 **[▲, ▼, ◀, ▶] で「確定」を選び、[決定] を押す。**

再生時の機能

① [サブ メニュー] を押す
- 表示されない場合、もう一度 [サブ メニュー] を押してください。

② 項目を選び、[決定] を押す

画面表示	写真（JPEG）情報を表示します。(⇨ 25)
右 90゜ 回転 **左 90゜ 回転**	写真（JPEG）を回転します。 （スライドショー再生時を除く）

再生

信号切換や再生方法などの設定をする

1 [再生設定] を押す

例）BD ビデオ

メニュー	設定項目		設定内容	
ディスク	信号切換			
再生	字幕情報	切	主	1日
映像	字幕スタイル	-	アングル	-
音声				

2 [▲, ▼] でメニューを選び、[▶] を押す

3 [▲, ▼, ◀, ▶] で設定項目を選び、[▶] を押す

4 [▲, ▼] で設定内容を選ぶ

[決定] を押して設定変更を実行するものもあります。

設定を終了するには

[再生設定] を押す

本機の状態 (再生中、停止中など) またはメディアによっては、選択・変更できない項目があります。

言語、音声属性、映像コーデックについては : (⇨ 41)

ディスク

信号切換

主映像

映像情報	映像の記録方法を表示します。
音声情報	音声や言語の種類を選びます

副映像

映像情報	映像の切/入を選びます。 映像の記録方法を表示します。
音声情報	音声や言語の切/入を選びます。

映像情報

映像の記録方法を表示します。

音声情報

音声を表示したり、または選ぶことができます。

字幕情報

字幕表示の切/入や、メディアによっては言語を選びます。

字幕スタイル

ディスクに記録されている字幕スタイルを選びます。

音声チャンネル

音声（L/R）を切り換えます。
(⇨ 21、「音声を切り換える」)

アングル

アングルを選びます。

ディスクの特定のメニューでしか変更できないものもあります。(⇨ 20)

再生

リピート

（本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ）
リピート再生の方法を選びます。メディアによりリピートの種類は異なります。

取り消すには、「切」を選んでください。

ランダム

順不同で再生します。

再生情報
以下の項目が表示されます。

(ディスクアイコン)	ディスクの映像コーデックや音声属性の情報
(設定アイコン)	「デジタル出力」の設定 (⇨ 33)
HDMI	HDMI 出力の情報 (HDMI(MAIN), HDMI(SUB))

表示を終了するには、[戻る] を押す

画面表示の飛び出し量
(「3D 方式設定」(⇨ 34) が「サイドバイサイド」の場合は設定できません)
3D 再生中の再生設定画面などの飛び出し量を変更することができます。

映像

画質選択
再生時の画質を選びます。
- 「ユーザー」を選ぶと、さらに画質を調整できます。[▶] で「詳細画質設定」を選んで、[決定] を押してください。

- 3D NR:
  背景部分に現れるノイズを除去し、奥行き感を出します。
  「24p 出力」を「入」に設定時は、働きません。(⇨ 35)
- Integrated NR:
  モザイク状のノイズや、周囲とのコントラストがはっきりした部分に見られるもやのようなノイズを除去します。

アドバンスト設定

リアルクロマプロセッサ
再生時に HDMI の色信号を高精度に処理することにより、高精細で質感豊かな映像を楽しむことができます。(映像や接続するテレビによっては、効果がない場合があります)

ディテールクラリティ
くっきりとした映像にします。

超解像アップコンバート
HDMI 端子やコンポーネント映像出力端子から 1080i/1080p で出力しているとき、標準画質の映像をくっきりした鮮明な画質に補正します。

プログレッシブ
プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。
- 「Auto」でぶれが生じる場合は、「Video」を選んでください。

24p
DVD ビデオを再生する場合、24 p で出力するかしないかを設定します。「入」にすると、より映画らしい動きで再生することができます。
- 「24p 出力」(⇨ 35) が「入」の場合のみ

音声

音質効果 *1 *2
お好みの音質に設定します。
- **真空管サウンド**:
  真空管アンプに接続したときのような、暖かい音質を楽しめます。(3 ～ 1 で異なる音色になります。)
- **リ . マスター**:
  ディスクに記録されていない高い周波数信号を付け加えることで、より自然な音質が楽しめます。

  音源に適した設定

リ . マスター 1	ポップス・ロックなど
リ . マスター 2	ジャズなど
リ . マスター 3	クラシックなど

- **ナイトサラウンド**:
  夜間など音量を絞った状態でも大音量の音声や小音量の音声などを自動的に調節して、聞き取りやすいサラウンド音声をお楽しみいただけます。

シネマボイス *2
センターチャンネルの音量を大きくして、セリフを聞き取りやすくします。

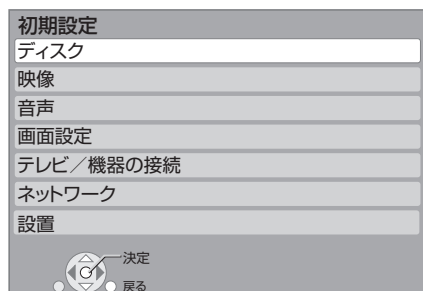
ハイクラリティサウンド
HDMI ケーブルから映像を出力している場合、音質に影響のあるアナログ映像信号をカットし、音質をよりクリアにします。
- 「ハイクラリティサウンド」(⇨ 33) を「有効」にしたときのみ

*1 各機能を同時に設定することはできません。
*2 HDMI 出力やデジタル音声出力時には、「デジタル出力」が「PCM」の場合のみ使用できます。(⇨ 33)(ただし、デジタル音声出力端子に接続時は、2 チャンネルの音声になります)

本機の設定を変える（初期設定）

必要に応じて設定を変更してください。設定内容は、本機の電源を切っても保持されています。

1 停止中に

[初期設定] を押す

2 [▲, ▼] でメニューを選び、[決定] を押す

3 [▲, ▼] で設定項目を選び、[決定] を選ぶ

さらに他の項目がある場合は、この手順を繰り返してください。

4 [▲, ▼, ◀, ▶] で設定内容を選び、[決定] を押す

- 操作方法が異なる場合があります。このときは、画面の指示に従ってください。

暗証番号について

入力した暗証番号は、以下の設定で共通です。
暗証番号は忘れないでください。
- 「DVD-Video の視聴制限」
- 「BD-Video の視聴可能年齢」
- 「BD-Live インターネット接続」
- 「テレビでネット視聴制限」(⇨ 36)

ディスク

DVD-Video の視聴制限

DVDビデオの視聴制限ができます。
- 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って数字ボタンで暗証番号（4けた）を入力してください。

BD-Video の視聴可能年齢

年齢制限された BD ビデオの視聴可能な下限年齢を設定できます。
- 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って数字ボタンで暗証番号（4けた）を入力してください。

3D ディスクの再生方法

3D ディスクの再生方法を選びます。

3D ディスク再生時の注意表示

3D 映像再生時に、3D 視聴の注意画面を表示するかどうかを設定します。

音声言語

再生時の音声を選びます。
- 「オリジナル」を選ぶと、ディスクの最優先言語で再生できます。
- 「その他 ∗∗∗∗」を選んだ場合、数字ボタンで言語番号 (⇨ 41) を入力してください。

字幕言語

再生時の字幕言語を選びます。
- 「オート」を選ぶと、「音声言語」で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。
- 「その他 ∗∗∗∗」を選んだ場合、数字ボタンで言語番号 (⇨ 41) を入力してください。

メニュー言語

テレビ画面に表示される言語を選びます。
- 「その他 ∗∗∗∗」を選んだ場合、数字ボタンで言語番号 (⇨ 41) を入力してください。

BD-Live インターネット接続 (⇨ 22)

BD-Live 機能を利用するときに、インターネットへの接続を制限することができます。
- 「有効（制限付き）」が選ばれていると、BD-Live コンテンツ制作者の証明書が含まれているときのみインターネットへの接続を許可します。

AVCHD 優先モード

ハイビジョン画質の番組とハイビジョン動画（AVCHD）が混在したディスクで再生する動画を設定します。
- 「入」はハイビジョン動画（AVCHD）を、「切」はハイビジョン画質の番組を再生します。

映像

スチルモード

一時停止中の画像の表示方法が選べます。

オート	表示方法は自動で選ばれます。
フィールド	動きのある映像や「オート」選択時にぶれが生じるとき
フレーム	「オート」選択時に細かい絵柄などが見えにくいとき

シームレス再生

番組と番組のつなぎ目などをなめらかに再生します。

- 「入」を選んだ場合でも、早送り中やチャプターの音声が異なる場合は働きません。また、位置がずれることがあります

音声

音声のダイナミックレンジ圧縮

小音量でもセリフを聞き取りやすくします。

(Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD のみ)

- 「オート」は、Dolby TrueHD のとき、コンテンツに従います。

デジタル出力 (⇒ 42)

[決定] を押して、さらに設定します。

Dolby D/Dolby D +/Dolby TrueHD
DTS/DTS-HD
AAC

音声の出力信号を選びます。

- 上記のデコーダーを搭載していない機器と接続する場合は、「PCM」を選んでください。
- 正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーが破損する恐れがあります。

BD ビデオ副音声・操作音

主音声と副音声をミックスして出力します。（操作音を含む）(⇒ 22)

- 「切」を選ぶと、操作音・副音声は出力されません。

PCM ダウンサンプリング変換

サンプリング周波数96 kHzで収録された音声をデジタル音声出力端子から PCM 出力する方法を選びます。

- 96 kHz に非対応の機器に接続時は「入」を、対応した機器に接続時は「切」にします。
- 以下の場合、48 kHz に変換されます。
  - サンプリング周波数が 192 kHz 以上の信号
  - 著作権保護処理がされているディスク
  - 「BD ビデオ副音声・操作音」が「入」

ダウンミックス

マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックスの方法を切り換えることができます。

- 2 チャンネルからマルチ・チャンネル・サラウンドに変換する機能を有する機器に接続するときは、「ドルビーサラウンド」を選んでください。
- 「デジタル出力」が「Bitstream」のときは、ダウンミックスの効果はありません。
- 以下の場合は、「ノーマル」で出力されます。
  - AVCHD 再生時
  - BD ビデオ：副音声や操作音を含んでの再生時

7.1ch 音声リマッピング

6.1 チャンネル以下のサラウンド音声を自動的に 7.1 チャンネルに拡張して再生します。

- 「切」にすると、オリジナルのチャンネル数で再生します。（6.1 チャンネルの場合は 5.1 チャンネルで再生します）

以下の場合に有効

- 「デジタル出力」が「PCM」の場合
- 音声が Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD または LPCM のとき

ハイクラリティサウンド

HDMI ケーブルから映像を出力している場合、音質に影響のあるアナログ映像信号をカットし、音質をよりクリアにします。

- 「有効」に設定したあと、「信号切換や再生方法などの設定をする」の「ハイクラリティサウンド」(⇒ 31) を「入」にしたときのみ

音声ディレイ

映像と音声のズレを、音声出力を遅らせて調整します。

設定

画面設定

画面表示動作〔オート〕
操作時の表示をテレビ画面に自動で表示します。

テレビ画面の焼き付き低減機能
テレビ画面の焼き付きを低減するための設定です。
- 「入」に設定のとき、10 分以上操作を行わないと、再生一覧画面が自動的にスタート画面に切り換わります。
- 再生中や一時停止中などの操作中は働きません。
- CD-DA 方式のデータや MP3 の再生一覧画面は、設定に関係なく、自動で他の画面に切り換わります。

本体表示窓の明るさ
本体表示窓の明るさを調節します。
- 「オート」を選ぶと、再生中は暗くなり、再生中以外は明るくなります。

SD カード LED 制御
SD カード LED の点灯方法を設定します。
- 「カード入点灯」を選ぶと、電源「入」時に SD カードを入れると点灯します。

HDMI(SUB) 音声専用 LED 制御
本体表示窓の“HDMI(SUB) 音声専用”の点灯･消灯の設定をします。
- 「入」を選ぶと、「HDMI(SUB) 出力モード」（右記）が「音声専用」の場合、HDMI(SUB) 端子に接続している機器の電源「入」時に点灯します。

ライセンス
本機が使用しているソフトウェア情報を表示します。

テレビ／機器の接続

3D 方式設定
接続しているテレビの方式に設定します。
- 「サイドバイサイド」の場合は、テレビ側でも 3D の設定を切り換えてください。

TV アスペクト
接続したテレビに合わせて設定します。

4：3 テレビで 16：9 の映像を再生する場合

パン＆スキャン	映像の左右が切られて、画面いっぱいに再生します。BD ビデオは、映像は「レターボックス」で再生します。
レターボックス	16：9 の映像の上下に帯がついて再生します。

16：9 ワイド画面テレビで 4：3 の映像を再生する場合

16:9	4：3 比率のまま画面中央に再生します。
16:9 フル	16：9 に引き伸ばされて再生します。

HDMI 接続
[決定] を押して、さらに設定します。

HDMI 映像優先モード
HDMI 端子から出力する場合、「入」を選びます。

入	HDMI 端子から「HDMI 出力解像度」で設定された解像度の映像を出力します。
切	「コンポーネント端子出力解像度」で設定された解像度の映像を出力します。

HDMI(SUB) 出力モード
HDMI(SUB) 端子からの映像を出力するかどうかを設定します。

HDMI 出力解像度
接続した機器が対応している項目には、画面上に「＊」が表示されます。「＊」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。
「オート」を選ぶと、接続した機器に適した解像度を自動で選びます。

24p 出力

1080/24p に対応したテレビの HDMI 端子と接続した場合、映画など 24p 記録された素材を 24p 出力します。

- DVD ビデオの素材を 24p で再生したい場合は、さらに「映像」メニュー の「24p」(⇨ 31) を「入」に設定する必要があります。
- BDビデオの24p 以外の素材は60pで出力されます。

HDMI カラースペース

HDMI 端子で接続時、映像信号のカラースペース変換方法を選びます。

HDMI 音声出力

音声を HDMI 端子から出力するかどうかを設定します。

- テレビと HDMI ケーブルで接続し、アンプなどとデジタル音声出力端子で接続するときは、「切」を選んでください。

ビエラリンク制御

ビエラリンクに対応した機器とHDMIケーブルで接続したときに、連動操作の設定をします。

- この機能を使わないときは、「切」を選んでください。

ECO スタンバイ

ビエラリンク (HDMI)Ver.4 以降に対応したビエラと接続時、ビエラの電源「切」に連動して、本機の電源「切」時の消費電力を最小にします。

- 「入」に設定すると、ビエラの電源「切」時に以下の設定時と同じように動作します。
  - 「本体表示窓の明るさ」(⇨ 34) :「オート」
  - 「クイックスタート」(⇨ 36) :「切」
    「クイックスタート」が「入」に固定される状態の場合、待機時消費電力は最小になりません。

  ビエラの電源「入」時には、上記の設定は実際の設定どおりに動作します。

Deep Color 出力

Deep Color対応テレビと接続時に設定します。

コンテンツタイプフラグ

接続したテレビがこの設定に対応している場合、再生する内容によってテレビが最適な方法に調整し出力します。

コンポーネント端子出力解像度

コンポーネント映像出力端子からの解像度を設定します。

- DVD ビデオは、「720p」、「1080i」を選んでいても 480p で出力されます。

アナログ音声出力

本機のアナログ出力端子と接続したアンプ側でスピーカーに最適なマルチサラウンド音声を出力できない場合、本機で調節します。

「2ch(ダウンミックス) + 5.1ch」または「7.1ch」を選んで [決定] を押し、以下の項目を設定する

– スピーカーの有無とサイズ：
(L C R SW LS RS LB RB)

– ディレイタイム（遅延効果）: (ms 0.0)

– チャンネルバランス（音量調整）: (dB 0.0)

設定を終了するには

[▲, ▼, ◀, ▶] を押して「終了」を選び、[決定] を押す

ネットワーク

かんたんネットワーク設定 (⇨ 14)

ネットワーク通信設定

[決定] を押して、さらに設定します。

LAN 接続形態

ネットワーク接続の方法を選びます。

アクセスポイント接続設定

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）との接続設定に進むことができます。また接続済みの場合は、設定内容や電波の状態を確認することができます。

接続設定

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）との接続を行います。

倍速モード設定（2.4GHz）

無線方式が 2.4 GHz の場合、通信速度を設定します。

- 「倍速モード（40MHz)」で通信を行うと、2 チャンネル分の周波数帯域を使うため、電波干渉が起こりやすくなる恐れがあります。そのためかえって通信速度が低下したり、通信が不安定になったりする場合があります。

IP アドレス /DNS 設定

ネットワークの接続状態を確認したり、IP アドレスや DNS の設定を行うことができます。
[決定] を押して、さらに設定します。

- 「接続速度設定」は「接続速度自動設定」が「切」時のみ有効です。

プロキシサーバー設定

プロキシサーバーの接続状態を確認したり、設定したりすることができます。
[決定] を押して、さらに設定します。

テレビでネット設定 (⇨ 28) (テレビでネット)

[決定] を押して、さらに設定します。

テレビでネット視聴制限

「テレビでネット」の視聴制限ができます。

- 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って数字ボタンで暗証番号（4けた）を入力してください。

テレビでネット自動音量調整

コンテンツによって異なる音量を、自動的に標準の音量にします。

- コンテンツによっては、効果がない場合があります。
- 音声がひずむ場合は「切」に設定してください。

MAC アドレス

本機の MAC アドレスを表示します。

設置

自動電源〔切〕

操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。

リモコンモード

リモコンで操作をすると、本機以外の当社製機器にも影響してしまうことがあります。このときは、リモコンコードを変えてください。

クイックスタート

電源「切」状態からの起動を高速化します。

- 「入」にすると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて以下の内容が異なります。
  - 待機時消費電力 (⇨ 46) が増えます。
  - 内部の温度上昇を防ぐため、内部冷却用ファンが低速で回ることがあります。

かんたん設置設定

本機の基本的な設定を行います。(「クイックスタート」「アナログ音声出力」の設定ができます)

初期設定リセット

本機をお買い上げ時の設定に戻します。ただし、「DVD-Video の視聴制限」、「BD-Video の視聴可能年齢」「リモコンモード」、「かんたんネットワーク設定」、「LAN 接続形態」、「アクセスポイント接続設定」、「IP アドレス / DNS 設定」、「プロキシサーバー設定」、「テレビでネット視聴制限」、は初期値には戻りません。

DivX 登録コード (⇨ 23)

DivX ビデオ・オン・デマンド (VOD) のファイルの購入や再生に必要です。

バージョン情報

本機のソフトウェアや無線 LAN アダプターのバージョン情報などを表示します。

ソフトウェア更新 (⇨ 17)

[決定] を押して、さらに設定します。

ソフトウェアの自動更新確認

本機をネットワーク接続している場合、本機の電源を入れたときに自動的にソフトウェアのバージョンを確認することができます。

ソフトウェア更新の実行

手動でソフトウェアの更新ができます。

故障かな！？

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。
それでも直らないときや、症状が載っていないときは販売店にご連絡ください。

次のような場合は、故障ではありません

- 周期的なディスクの回転音
- 早送り・早戻し時の映像の乱れ
- 3D ディスク入れ換え時の画面の乱れ
- 電源切 / 入時の音

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから 3 分以上待ってください。

- 本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ソフトウェアを更新していますか？

映画の再生時などの動作を改善するために、ソフトウェアは随時更新されています。(⇨ 17)

本機が操作を受けつけなくなったときは

本体の [電源 ⏻/I] を 3 秒以上押し続けてください。

– 電源が切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約 1 分後再びコンセントに差し込んでください。

ディスクが取り出せないときは

本機の故障が考えられます。

① 電源「切」状態で、リモコンの [決定]、[青]、[黄] を同時に５秒以上押す
–本体表示窓に「00 RET」が表示されます。

② 本体表示窓に「06 FTO」が表示されるまでリモコンの [▶]（右）を数回押す

③ リモコンの [決定] を押す

いろいろな操作

基本設定以外の設定をお買い上げ時の状態に戻すには？

➢「初期設定リセット」で「する」を選びます。(⇨ 36)

お買い上げ時の設定に戻すには？

➢ 下記の操作をすると、すべての項目がお買い上げ時の状態に戻ります。

① 電源「切」状態で、リモコンの [決定]、[青]、[黄] を同時に５秒以上押す
–本体表示窓に「00 RET」が表示されます。

② 本体表示窓に「08 FIN」が表示されるまでリモコンの [▶]（右）を数回押す

③ リモコンの [決定] を３秒以上押す

自動的に電源が切れた

➢ ビエラリンク (HDMI)Ver.4 以降に対応のビエラと接続した場合、ビエラリンクの連動操作が働いていることがあります。詳しくは接続したテレビの取扱説明書をご覧ください。

リモコンが働かない

➢ 本機とリモコンのリモコンコードが異なっていませんか。リモコン側のコードを変更してください。(⇨ 36)

➢ 電池を交換すると、メーカーコードまたはリモコンコードを合わせ直す必要がある場合があります。(⇨ 18)

テレビの電源を入れたとき、テレビ放送が映らない

➢「クイックスタート」が「入」の場合、テレビの設定などによってこの現象は起こります。
–テレビによってはHDMIケーブルを別のHDMI入力端子に差し換えたり、テレビの HDMI 自動切換などの設定を変えると、この現象を防ぐことができます。

暗証番号を忘れた
視聴制限を解除したい

➢ 視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。

① 電源「入」状態で、リモコンの [決定]、[青]、[黄] を同時に５秒以上押す
–本体表示窓に「00 RET」が表示されます。

② 本体表示窓に「03 VL」が表示されるまでリモコンの [▶]（右）を数回押す

③ リモコンの [決定] を押す

映像

映像が出ない、映像が乱れる、映像の表示がおかしい

➢「コンポーネント端子出力解像度」または「HDMI 出力解像度」でテレビが対応していない解像度を選んでいませんか。
下記の操作をすると、設定を解除できます。

① 電源「入」状態で、リモコンの [決定]、[青]、[黄] を同時に５秒以上押す
–本体表示窓に「00 RET」が表示されます。

② 本体表示窓に「04 PRG」が表示されるまでリモコンの [▶]（右）を数回押す

③ リモコンの [決定] を３秒以上押す
もう一度設定する (⇨ 34, 35)
–Dolby Digital Plus または Dolby TrueHD、DTS-HD の音声が Bitstream で出力されなくなった場合は、「初期設定リセット」で「はい」を選んでから、正しく設定し直してください。(⇨ 36)

➢ 3D 映像の再生中、コンポーネント映像出力端子や映像出力端子からの出力は正常に表示されない場合があります。

映像が出力されない

➢ コンポーネント映像出力端子 または映像出力端子を使って本機を使用する場合は、「ハイクラリティサウンド」(⇨ 31) を「切」にしてください。

➢「HDMI(SUB) 出力モード」が「音声専用」に設定されていると、HDMI(SUB) 端子から映像は出力されません。(⇨ 34)

ハイビジョン映像で出力されない

➢「HDMI 映像優先モード」、「HDMI 出力解像度」、「コンポーネント端子出力解像度」を正しく設定してください。
(⇨ 34, 35)

3D 映像が出力されない

➢ 本機とテレビの間に 3D 非対応のアンプを接続していませんか？ (⇨ 10)

➢ 3D 非対応のアンプを HDMI(SUB) 端子に接続している場合、「HDMI(SUB) 出力モード」を「音声専用」に設定してください。(⇨ 34)

➢ 本機とテレビの設定は正しいですか？ (⇨ 24)

➢ 本機とテレビの間に接続しているアンプの電源は入っていますか？

3D 映像が正しく 2D 出力されない

➢「3D ディスクの再生方法」が「2D 再生」に設定されていますか？ (⇨ 32)

➢ 3D をお楽しみいただけるサイドバイサイド（２画面構成）などの放送を記録したディスクは、テレビ側の設定に従って再生されます。

映像の上下左右に黒帯がついて再生される
画面サイズがおかしい

➢「TV アスペクト」を正しく設定してください。(⇨ 34)

➢ テレビ側で画面サイズ比を変更してください。（本機の「画面モード切換」(⇨ 21) でも変更できます）

音声

音声が切り換えられない

➢ HDMI 端子またはデジタル音声端子でアンプと接続して「デジタル出力」を「Bitstream」にしている場合、切り換えできません。「PCM」に設定するか、音声出力端子と接続してください。(⇨ 10, 11, 33)

聞きたい音声が聞こえない

➢ 接続や「デジタル出力」の設定を確認してください。(⇨ 33)

➢ 音声出力端子を使ってアンプと接続している場合は、「アナログ音声出力」を設定してください。(⇨ 35)

➢ HDMIケーブルで接続した機器から音声を出力する場合は、「HDMI 音声出力」を「入」にしてください。(⇨ 35)

➢ テレビを HDMI(MAIN) 端子に接続し、アンプを HDMI(SUB) 端子に接続している場合、「HDMI(SUB) 出力モード」を「音声専用」に設定してください。(⇨ 24)

TV から音が出ない

➢ アンプを HDMI(SUB) 端子に接続し、「HDMI(SUB) 出力モード」を「音声専用」に設定している場合、テレビから音声は出力されない場合があります。その場合は、アンプから音声を出力してください。テレビから音声を出力する場合は、「HDMI(SUB) 出力モード」を「ノーマル」に設定してください。(⇨ 34)

再生

ディスクの再生が始まらない、またはすぐに停止する

➢ ディスクが汚れていませんか。(⇨ 4)

USB 機器を正しく認識しない

➢ 無線 LAN アダプター DY-WL10（別売）に付属の延長用 USB ケーブル以外の USB 接続ケーブルや、USB ハブを使って USB 機器を接続した場合は、認識しないことがあります。
➢ 再生中、USB 機器を接続すると、認識しないことがあります。
➢ USB 機器（無線 LAN アダプター DY-WL10（別売）を除く）を２つ同時に接続すると、本機は認識しません。

写真（JPEG）が正しく再生できない

➢ Progressive JPEG など、パソコンで編集した写真は再生できないことがあります。

BD ビデオの BD-Live が再生できない

➢ SD カードがプロテクトされています。(⇨ 7)
➢ ネットワーク接続や設定は正しいですか。(⇨ 12, 14)
➢「BD-Live インターネット接続」を確認してください。(⇨ 32)
➢ SD カードが SD カードスロットに正しく入っているか確認してください。(⇨ 19)

ネットワーク

ネットワークに接続できない

➢ ネットワーク接続や設定は正しいですか。(⇨ 12, 14)
➢ 接続した機器の説明書や接続を確認してください。

DLNA 対応機器の映像を再生できない

➢ 接続した機器側で本機が登録されていますか。
➢ すべての映像を再生できるわけではありません。詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください。

無線 LAN 接続をしているとき、DLNA 対応機器からの映像を再生できない、または映像が途切れる

➢ 無線ブロードバンドルーター（無線アクセスポイント）との接続が 802.11n (5 GHz) で、暗号化方式が「AES」になっているか、ご確認ください。
2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。
➢「アクセスポイント接続設定」(⇨ 35) の画面で「電波状態」のインジケーターが 4 つ以上点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3 つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、無線 LAN アダプターや無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を調節して通信状態が良くなるかお確かめください。（無線 LAN アダプターは、無線 LAN アダプターに付属の USB 延長ケーブルを使って調節してください）それでも改善できない場合は有線で接続し、かんたんネットワーク設定 (⇨ 14) を再度行ってください。

こんな表示が出たら

起動時や操作中に異常が起こった場合、テレビ画面または本体表示窓に以下のメッセージやサービス番号が表示されます。

テレビ画面

再生できません。

➢ 非対応のディスク（映像方式が異なるディスクなど）が入っています。

本機では再生できません。

➢ 非対応の画像を再生しようとしています。

➢ 本体表示窓の「SD」が点滅していないことを確認して、SD カードを入れ直してください。

ディスクが入っていません。

➢ ディスクが裏返しになっていませんか。

⃠ この操作はできません。

➢ 本機が操作を制限しています。

例：BD ビデオ : 逆スローできません。

IP アドレスが設定されていません。

➢「IP アドレス /DNS 設定」で「IP アドレス」が「---. ---. ---. ---」になっています。「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」を設定してください。（必要に応じて、アドレスの自動取得を選択してください）

セキュリティーが低い設定になっています。設定の変更をおすすめします。

➢ 安全のために、無線 LAN の暗号化方式を「AES」にしてください。

DLNA 対応機器から映像などを再生する場合は、暗号化が必要になります。

本体表示窓

F99

➢ 本機が正常に動作しません。本体の[電源⏻/I]を３秒以上押し、電源を切ってください。そのあと、もう一度 [電源 ⏻/I] を押して、電源を入れてください。

HDMI ONLY

➢ BD ビデオの種類によっては HDMI 映像･音声出力端子からのみ出力可能なものがあります。

NET

➢ インターネットに接続中です。

No PLAY

➢ BD ビデオまたは DVD ビデオで視聴制限がかかっています。(⇨ 32)

No READ

➢ メディアに汚れや傷がついているため、再生できません。

PLEASE WAIT

➢ 復旧動作中に表示されます。「PLEASE WAIT」表示中は、本機を操作することはできません。

REMOVE

➢ USB 機器接続に異常が発生しました。接続した USB 機器を本機から外してください。

U30 □

(□ は数字)

➢ 本体とリモコンのリモコンコードが違っています。リモコンコードを合わせてください。

表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、[決定] を2秒以上押したままにしてください。

U59

➢ 本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。

表示が消えるまで（約30分間）お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、背面の内部冷却用ファンの周りを空けてください。

U72 または U73

➢ HDMI接続時に異常が発生しました。

–本機とテレビの電源を切ってください。

–HDMI ケーブルを本機とテレビの両方から取り外してください。

H□□ または F□□ **（□ は数字)**

➢ 異常が発生しました。電源を一度、切／入してください。

START

➢ ソフトウェアの更新のため、本機が再起動中です。本機の電源を切らないでください。

UPD□/□ **（□ は数字)**

➢ ソフトウェアの更新中です。

本機の電源を切らないでください。

FINISH

➢ ソフトウェアの更新が完了しました。

補足情報

■ テレビコード / アンプコード

メーカー名	テレビコード
パナソニック	01/10/22/23/24
シャープ	02/11/21
ソニー	03/17
東芝	04
日立	05/20
NEC	06/15
三洋	07/16
三菱	08/12
富士通ゼネラル	09
パイオニア	13
ビクター	14
アイワ	18
フナイ	19

メーカー名	アンプコード
パナソニック	01/02/03
アイワ	04/05/44
アカイ	06
Daewoo	07
デノン（Denon）	08/09/10/11/12/25/37
Goldstar/LG	13
ビクター	14/15
ケンウッド	16/33
マランツ	17/18/19/21
ナカミチ	20/28/29
オンキョー	23/24
フィリップス	25
パイオニア	26/27
サンスイ	28/29/30
三洋	31
シャープ	32/33/34
ソニー	35/36
テクニクス	01/38
東芝	39
ヤマハ	22/40/41/42/43

■ 映像コーデック

表示	内容
MPEG-2	カラー動画を効率よく圧縮、展開する規格で DVD などに使われます。
MPEG-4 AVC VC-1	カラー動画を効率よく圧縮、展開する規格でブルーレイディスク などハイビジョン映像の録画に使われます。
480/576/720/1080	映像フォーマット
24p/50i/60i/50p/60p	フレームレート
YCbCr4:2:2/YCbCr4:4:4/RGB	カラースペース
bps (bit per second)	データ転送レート
V.OFF	HDMI(SUB) 端子からの映像出力停止

■ 音声属性

表示	内容
LPCM/DD Digital/DD Digital+/DD TrueHD/DTS/DTS-ES Mtrx/DTS-ES Dscrt/DTS 96/DTS 96 ES Mtrx/DTS-HD HI RES/DTS-HD MSTR/MPEG/AAC	信号タイプ
ch (channel)	チャンネル数
k (kHz)	サンプリング周波数
b (bit)	ビット数
bps (bit per second)	データ転送レート

■ 言語

表示	言語	表示	言語	表示	言語
日	日本語	伊	イタリア語	露	ロシア語
英	英語	西	スペイン語	韓	韓国語
仏	フランス語	蘭	オランダ語	*	その他
独	ドイツ語	中	中国語		

■ 言語番号一覧

言語	番号	言語	番号	言語	番号
アイスランド:	7383	ケチュア:	8185	バシキール:	6665
アイマラ:	6589	ゲール(スコットランド):	7168	バスク:	6985
アイルランド:	7165	コーサ:	8872	パシュト:	8083
アゼルバイジャン:	6590	コルシカ:	6779	パンジャブ:	8065
アッサム:	6583	サモア:	8377	ヒンディー:	7273
アファル:	6565	サンスクリット:	8365	ビハール:	6672
アフリカーンス:	6570	ショナ:	8378	ビルマ:	7789
アブハジア:	6566	シンド:	8368	フィジー:	7074
アムハラ:	6577	シンハラ:	8373	フィンランド:	7073
アラビア:	6582	ジャワ:	7487	フェロー:	7079
アルバニア:	8381	スウェーデン:	8386	フランス:	7082
アルメニア:	7289	スペイン:	6983	フリジア:	7089
イタリア:	7384	スロバキア:	8375	ブータン:	6890
イディッシュ:	7473	スロベニア:	8376	ブルガリア:	6671
インターリングア:	7365	スワヒリ:	8387	ブルターニュ:	6682
インドネシア:	7378	スンダ:	8385	ヘブライ:	7387
ウェールズ:	6789	ズールー:	9085	ベトナム:	8673
ウォロフ:	8779	セルビア:	8382	ベロルシア(白ロシア):	6669
ウクライナ:	8575	セルボクロアチア:	8372	ベンガル(バングラ):	6678
ウズベク:	8590	ソマリ:	8379	ペルシャ:	7065
ウルドゥー:	8582	タイ:	8472	ポーランド:	8076
ヴォラピュック:	8679	タガログ:	8476	ポルトガル:	8084
英語:	6978	タジク:	8471	マオリ:	7773
エストニア:	6984	タタール:	8484	マケドニア:	7775
エスペラント:	6979	タミル:	8465	マダガスカル:	7771
オーリヤ:	7982	チェコ:	6783	マライ(マレー):	7783
オランダ:	7876	チベット:	6679	マラッタ:	7782
カザフ:	7575	中国語:	9072	マラヤーラム:	7776
カシミール:	7583	ティグリニア:	8473	マルタ:	7784
カタロニア:	6765	テルグ:	8469	モルダビア:	7779
ガリチア:	7176	デンマーク:	6865	モンゴル:	7778
韓国(朝鮮)語:	7579	トウイ:	8487	ヨルバ:	8979
カンナダ:	7578	トルクメン:	8475	ラオ:	7679
カンボジア:	7577	トルコ:	8482	ラテン:	7665
キルギス:	7589	トンガ:	8479	ラトビア(レット):	7686
ギリシャ:	6976	ドイツ:	6869	リトアニア:	7684
クルド:	7585	ナウル:	7865	リンガラ:	7678
クロアチア:	7282	日本語:	7465	ルーマニア:	8279
グアラニー:	7178	ネパール:	7869	レトロマンス:	8277
グジャラト:	7185	ノルウェー:	7879	ロシア:	8285
グリーンランド:	7576	ハウサ:	7265		
グルジア:	7565	ハンガリー:	7285		

デジタル出力される音声と接続・設定の関係

出力される音声について

アンプに接続する端子と本機の設定 (⇨ 33, デジタル出力) によって、出力される音声は異なります。

● 表内の ch（チャンネル数）は最大チャンネル数を表しています

HDMI 端子 / デジタル音声出力端子（光 / 同軸）

<table>
<tr><th>接続端子</th><th colspan="4">HDMI 端子</th><th colspan="2">デジタル音声出力端子</th></tr>
<tr><th>「Dolby D/Dolby D +/Dolby TrueHD」/「DTS/DTS-HD」</th><th colspan="2">「Bitstream」*1</th><th colspan="2">「PCM」*2</th><th>「Bitstream」</th><th>「PCM」</th></tr>
<tr><th>「BD ビデオ副音声・操作音」</th><th>「入」*3</th><th>「切」</th><th>「入」*4</th><th>「切」</th><th>「入」/「切」</th><th>「入」/「切」</th></tr>
<tr><td rowspan="2">Dolby Digital/
Dolby Digital EX*5</td><td rowspan="3">Dolby Digital</td><td rowspan="6">オリジナルの音声で出力</td><td colspan="2">DVD ビデオ：5.1ch PCM</td><td rowspan="2">Dolby Digital/
Dolby Digital EX*6</td><td rowspan="6">ダウンミックス 2ch PCM</td></tr>
<tr><td colspan="2">BD ビデオ：7.1ch PCM*7</td></tr>
<tr><td>Dolby Digital Plus/
Dolby TrueHD</td><td colspan="2">7.1ch PCM</td><td>Dolby Digital</td></tr>
<tr><td rowspan="2">DTS Digital Surround/
DTS-ES*5</td><td rowspan="3">DTS Digital Surround</td><td colspan="2">DVD ビデオ：5.1ch PCM</td><td rowspan="2">DTS Digital Surround/
DTS-ES*6</td></tr>
<tr><td colspan="2">BD ビデオ：7.1ch PCM*8</td></tr>
<tr><td>DTS-HD High Resolution Audio/DTS-HD Master Audio</td><td colspan="2">7.1ch PCM*8</td><td>DTS Digital Surround</td></tr>
<tr><td>7.1ch LPCM</td><td colspan="4">7.1ch PCM</td><td colspan="2">ダウンミックス 2ch PCM</td></tr>
</table>

音声出力端子

<table>
<tr><th>接続端子</th><th>7.1ch 音声出力</th><th>5.1ch 音声出力</th><th>2ch 音声出力</th></tr>
<tr><th>「BD ビデオ副音声・操作音」</th><th>「入」*4/「切」</th><th>「入」/「切」</th><th>「入」/「切」</th></tr>
<tr><td rowspan="2">Dolby Digital/
Dolby Digital EX</td><td>DVD-Video : 5.1ch</td><td rowspan="7">5.1ch</td><td rowspan="7">2ch</td></tr>
<tr><td>BD-Video : 7.1ch*7</td></tr>
<tr><td>Dolby Digital Plus/
Dolby TrueHD</td><td>7.1ch</td></tr>
<tr><td rowspan="2">DTS Digital Surround/
DTS-ES</td><td>DVD-Video : 5.1ch</td></tr>
<tr><td>BD-Video : 7.1ch*8</td></tr>
<tr><td>DTS-HD High Resolution Audio/
DTS-HD Master Audio</td><td>7.1ch*8</td></tr>
<tr><td>7.1ch LPCM</td><td>7.1ch</td></tr>
</table>

*1 接続する機器が非対応のときは、Dolby Digital Bitstream、DTS Digital Surround Bitstream またはダウンミックス 2ch PCM（例：テレビなど）で出力します。
*2 接続する機器がディスクに記録されているチャンネル数に非対応の場合、ダウンミックス 2ch PCM で出力します。
*3 副音声やボタン操作音を含まない BD ビデオを再生する場合は、「BD ビデオ副音声・操作音」(⇨ 33) を「切」に設定したときと同様の音声で出力します。
*4 副音声やボタン操作音を含む BD ビデオを再生する場合は、5.1ch で出力します。
*5 PCM 出力する場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital として、DVD ビデオに記録された DTS-ES は DTS Digital Surround として、BD ビデオに記録された DTS-ES は DTS-ES としてデコードした PCM 音声になります。
*6「BD ビデオ副音声・操作音」(⇨ 33) を「入」に設定した場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital、DTS-ES は DTS Digital Surround の Bitstream で出力します。ただし、副音声や操作音を含まない BD ビデオの再生時は、オリジナルの音声で出力します。
*7「7.1ch 音声リマッピング」(⇨ 33) が「切」時は 5.1ch で出力します。
*8 DTS, Inc. の仕様により 5.1ch または 6.1ch から 7.1ch に自動的に拡張して出力します。

音声のおすすめ設定

接続した機器によって、おすすめの設定は異なります。下の表を参考にしてそれぞれの項目を設定してください。

[初期設定] を押す ⇨ 「音声」を選ぶ ⇨ それぞれの項目を設定する

設定項目の説明については ⇨ 33

初期設定		接続機器と接続のしかた				
		テレビと HDMI 接続*1	HD オーディオ*2 デコーダー搭載アンプと HDMI 接続	HD オーディオ*2 デコーダー非搭載アンプと HDMI 接続	アンプと光接続または同軸接続	アンプと 5.1/7.1ch 音声出力接続*3
「デジタル出力」	「Dolby D/ Dolby D +/ Dolby TrueHD」	「PCM」	「Bitstream」	「PCM」	「PCM」	無効
	「DTS/ DTS-HD」	「PCM」	「Bitstream」	「PCM」	「PCM」	無効
	「BD ビデオ副音声・操作音」	「切」	「切」	「切」	「切」	「切」
「PCM ダウンサンプリング変換」		無効	無効	無効	「切」*4	無効
「ダウンミックス」		「ノーマル」	無効	無効	「ノーマル」*5	無効
「ハイクラリティサウンド」		「有効」	「無効」*6	「無効」*6	「無効」*6	「無効」*6

- 下線はお買い上げ時の設定です。変更する必要はありません。

*1 デジタル音声出力端子や音声出力端子で接続しているときは、効果がありません。
*2 HD オーディオ：Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD High Resolution Audio、DTS-HD Master Audio
*3「アナログ音声出力」で「7.1ch」または「2ch(ダウンミックス) ＋ 5.1ch」を選んでください
（[初期設定] を押す ⇨ 「テレビ／機器の接続」を選ぶ）
*4 サンプリング周波数９６ kHz 非対応の機器に接続時は「入」にしてください。
*5 マルチ・チャンネル・サラウンドに変換する機能に対応した機器に接続時は、「ドルビーサラウンド」に設定してください。
*6 HDMI 端子を使ってテレビに出力している場合、「有効」に設定してください。

MP3/JPEG/DivX/AVCHD/MPEG2 ファイルについて

MP3

ファイルフォーマット	MP3
拡張子	“.mp3”、“.MP3”
対応ビットレート	32 kbps ～ 320 kbps
再生可能なサンプリング周波数	44.1 kHz/48 kHz
備考	ID3 タグ : バージョン 1/2.2/2.3/2.4 (表示できる情報はタイトルとアーティストの名前のみ)

JPEG

ファイルフォーマット	JPEG
拡張子	“.jpg”、“.JPG”.
画素数	34×34 ～ 8192×8192 画素 (サブサンプリング : 4:2:2、4:2:0)
備考	JPEG ベースライン方式（DCF* 準拠) ● MOTION JPEG、Progressive JPEG：非対応

* Design rule for Camera File system: 電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格

● DVD-RAM : 使用できるフォーマットは UDF 2.0 です
● BD-RE：使用できるフォーマットは UDF 2.5 です

DivX

ファイルフォーマット	DivX
拡張子	“.DIVX”、“.divx”、“.AVI”、“.avi”.
画素数	32×32 ～ 1920×1080 画素
備考	● プレミアムコンテンツを含む HD 1080p までの DivX ビデオを認定 **映像** - ストリーム数：1 まで - コーデック：DIV3、DIV4、DIVX、DX50、DIV6 - FPS (Frame Per Second): Up to 60 fps **音声** - ストリーム数：8 まで - フォーマット：MP3、MPEG、Dolby Digital - マルチチャンネル：Dolby Digital MPEG マルチは 2 ch に変換 ● GMC (Global Motion Compensation)：非対応

● DVD-R、DVD-R DL：使用できるフォーマットは UDF 1.02 または UDF 1.5（ISO9660）
● BD-R：使用できるフォーマットは UDF 2.5 です

AVCHD

ファイルフォーマット	**デジタルハイビジョンビデオカメラで記録した AVCHD 規格 (V1.0) （他社製を含む）**
コーデック	MPEG-4 AVC/H.264

● 使用できるフォーマットは UDF 2.5 です

MPEG2

ファイルフォーマット	**SD ビデオカメラで記録した SD ビデオ規格 *（他社製を含む）**
コーデック	MPEG2

* SD-Video Entertainment Video Profile 形式

● メディアやフォルダの作りかたによっては、再生順が異なったり再生できない場合があります。
● CD-R、CD-RW : ISO9660 level1 および level2 （拡張フォーマットを除く）、Joliet
本機はマルチセッションに対応しています。
本機はパケットライト方式に対応していません。
● DVD-R、DVD-R DL （AVCHD を除く）: ISO9660 level 1 および 2 （拡張フォーマットを除く）、Joliet、UDF ブリッジ（UDF 1.02/ISO9660）
本機はマルチセッションに対応していません。
本機はパケットライト方式に対応していません。

本機で表示されるフォルダ構造例

メディア上に下記のようなフォルダを作成することで本機でファイルを再生することができますが、データの作りかたによっては、再生順が異なる場合があります。

: 表示されるフォルダ

∗∗∗: 数字

XXX: 半角文字

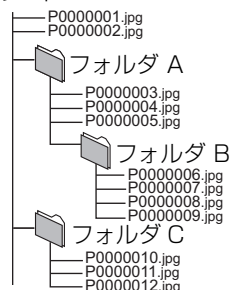
[*1] ∗∗∗: 001 から 999 まで

[*2] ∗∗∗: 100 から 999 まで
XXXXX: 5 けた

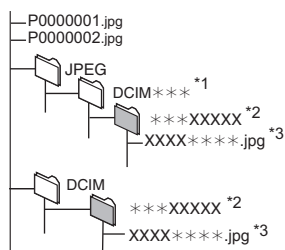
[*3] ∗∗∗∗: 0001 から 9999 まで
XXXX: 4 けた

写真（JPEG）のフォルダ構造

DVD-R*[4]/DVD-R DL*[4]/CD-R*[5]/CD-RW*[5]

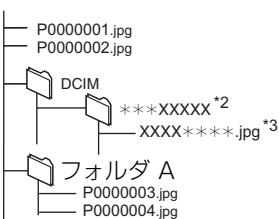
フォルダ内のファイルは、更新された順、または撮影された順に表示されます。

BD-RE*[6]/DVD-RAM*[4]

● フォルダを表示することはできません。

ルート

SD カード *[4]/USB 機器 *[4]

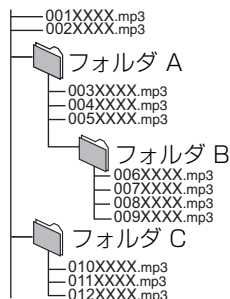
全フォルダ内の JPEG ファイルを表示します。

● フォルダを表示することはできません。

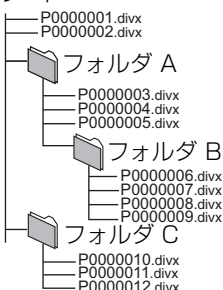
ルート

MP3 のフォルダ構造

DVD-R/DVD-R DL/CD-R/CD-RW/USB 機器

再生したい順に 3 けたの番号を付けてください。

ルート

DivX のフォルダ構造

BD-R*[7]/DVD-R*[7]/DVD-R DL*[7]/CD-R*[7]/CD-RW*[7]/USB 機器 *[7]

フォルダ内のファイルは、更新された順、または撮影された順に表示されます。

[*4] フォルダ数：ディスク上のルートまたは上位フォルダを含む最大 300 フォルダ
ファイル数：最大 3000 ファイル

[*5] フォルダ数：ディスク上のルートまたは上位フォルダを含む最大 99 フォルダ
ファイル数：最大 999 ファイル

[*6] フォルダ数：ディスク上のルートまたは上位フォルダを含む最大 300 フォルダ
ファイル数：最大 9999 ファイル

[*7] フォルダ数：ディスク上のルートまたは上位フォルダを含む最大 300 フォルダ
ファイル数：最大 200 ファイル

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	動作時：約 18 W 待機時 （クイックスタート「切」)：約 0.1 W 待機時 （クイックスタート「入」)：約 7.3 W

本体

寸法	幅 430 mm× 高さ 68 mm × 奥行き 245 m（突起部を含む)
質量	約 3.2 kg
許容周囲温度	5 ℃～35 ℃
許容相対湿度	10 %～80 %RH （結露なきこと）
テレビジョン方式	NTSC 方式： （59.94 Hz/60 Hz) ハイビジョン映像：（59.94 Hz/60 Hz/24 Hz)
SDカードスロット	1系統
USB 端子	USB2.0 準拠（2 系統）
LAN 端子	10BASE-T/100BASE-TX（1系統）

映像

映像出力	出力端子： ピンジャック（1 系統) 出力レベル： 1.0 Vp-p (75 Ω)
コンポーネント端子映像出力（1080i/720p/480p/480i)	出力端子： ピンジャック（1 系統) （Y: 緑、CB/PB: 青、CR/PR: 赤) Y 出力レベル： 1.0 Vp-p (75 Ω) CB/PB 出力レベル： 0.7 Vp-p (75 Ω) CR/PR 出力レベル： 0.7 Vp-p (75 Ω)
HDMI 映像・音声出力	出力端子： 19ピン typeA端子（2 系統：Main/Sub） HDMI[本機はビエラリンク (HDMI)Ver.5 に対応しています] （480p/720p/1080i/1080p）

音声

アナログ出力	出力端子： 7.1 ch 出力（2 ch + 5.1 ch 出力） ピンジャック（1 系統） 出力レベル： 2 Vrms (1 kHz, 0 dB)
デジタル出力	光デジタル音声出力端子： 光コネクター（1系統） 同軸デジタル音声出力端子： ピンジャック（1系統）

著作権など

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。
  この著作権保護技術の使用は、ロヴィ社の許可が必要で、また、ロヴィ社の特別な許可がない限り、家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 米国特許番号：5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535; 7,392,195; 7,272,567; 7,333,929; 7,212,872 及び、その他米国や世界各国に出願し権利を保有する特許に基づき製造されています。
  DTS とそのシンボルマークは、DTS, Inc. の登録商標です。
  DTS-HD、DTS-HD Master Audio ｜ Essential 及び DTS のロゴは、DTS, Inc. の商標です。「製品」にはソフトウェアも含みます。© DTS, Inc. 不許複製。
- SDXC ロゴは、SD-3C, LLC の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウエア（株）のモバイルWnnを使用しています。
  "Mobile Wnn" © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
- HDAVI Control™ は商標です。
- "AVCHD" および "AVCHD" ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- "BD-LIVE" ロゴは、Blu-ray Disc Association の商標です
- "BONUSVIEW" は Blu-ray Disc Association の商標です。
- "Blu-ray 3D" および "Blu-ray 3D" ロゴは、Blu-ray Disc Association の商標です。
- DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- DivX® は DivX, Inc. の登録商標であり、DivX, Inc. の使用許諾を得て使用しています。
  DivX® is a registered trademark of DivX, Inc., and is used under license.
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - AVC 規格及び VC-1 規格に準拠する動画（以下、AVC/VC-1 ビデオ）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
  - ライセンスを受けた提供者から入手された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
    詳細については米国法人 MPEG LA,LLC （http://www.mpegla.com）をご参照ください。
- 本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- AOSS™ は株式会社バッファローの商標です。

本製品は以下の種類のソフトウェアから構成されています。
(1) パナソニック株式会社（パナソニック）が独自に開発したソフトウェア
(2) 第三者が保有しており、別途規定される条件に基づきパナソニックに利用許諾されるソフトウェア
(3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 (GPL v2) に基づき利用許諾されるソフトウェア
(4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1(LGPL v2.1) に基づき利用許諾されるソフトウェア
(5) GPL,LGPL 以外の条件に基づき利用許諾されるオープンソースソフトウェア
上記 (3)、(4) に基づくソフトウェアに関しては、例えば以下で開示される GNU GENERAL PUBLIC LICENSE V2.0, GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE V2.1 の条件をご参照ください。
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html
また、上記 (3)、(4) に基づくソフトウェアは、多くの人々により著作されています。これら著作者のリストは以下をご参照ください。
http://www.am-linux.jp/dl/JPRCBW98

これら GPL,LGPL の条件で利用許諾されるソフトウェア（GPL/LGPL ソフトウェア）は、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

製品販売後、少なくとも３年間、パナソニックは下記のコンタクト情報宛にコンタクトしてきた個人・団体に対し、GPL/LGPL の利用許諾条件の下、実費にて、GPL/LGPL ソフトウェアに対応する、機械により読み取り可能な完全なソースコードを頒布します。

コンタクト情報
cdrequest@am-linux.jp

またソースコードは下記の URL からも自由に入手できます。
http://www.am-linux.jp/dl/JPRCBW98

This product incorporates the following software:
(1) the software developed independently by or for Panasonic Corporation,
(2) the software owned by third party and licensed to Panasonic Corporation,
(3) the software licensed under the GNU General Public License, Version 2 (GPL v2),
(4) the software licensed under the GNU LESSER General Public License, Version 2.1 (LGPL v2.1) and/or,
(5) open sourced software other than the software licensed under the GPL v2 and/or LGPL v2.1
For the software categorized as (3) and (4), please refer to the terms and conditions of GPL v2 and LGPL v2.1, as the case may be at
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html and
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html.
In addition, the software categorized as (3) and (4) are copyrighted by several individuals. Please refer to the copyright notice of those individuals at
http://www.am-linux.jp/dl/JPRCBW98

The GPL/LGPL software is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY, without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

At least three (3) years from delivery of products, Panasonic will give to any third party who contacts us at the contact information provided below, for a charge no more than our cost of physically performing source code distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code covered under GPL v2/LGPL v2.1.

Contact Information
cdrequest@am-linux.jp

Source code is also freely available to you and any other member of the public via our website below.
http://www.am-linux.jp/dl/JPRCBW98

用語解説

Ⓐ

エーエーシー　アドバンスド　オーディオ　コーディング
AAC（Advanced Audio Coding）

デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。「アドバンスド・オーディオ・コーディング」の略で、CD並みの音質データを約1/12まで圧縮できます。また、5.1チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

エーブイシーエイチディー
AVCHD

高精細なハイビジョン映像を８ｃmDVD記録用ディスクやSDカード上に撮影記録できるように開発された新しいビデオカメラ記録フォーマット（規格）の名称です。

エーブイシーレック
AVCREC

高精細なハイビジョン映像をハイビジョン画質のままDVDに記録できるように開発された新しい記録フォーマット(規格)の名称です。
DVD機器で再生するには、記録したディスクのAVCREC方式の再生に対応している必要があります。

Ⓑ

ビーディー　ジェイ
BD-J

BDビデオにはJAVAアプリケーションを含むものがあり、そのアプリケーションはBD-Jと呼ばれます。通常のビデオの操作に加えて、いろいろなインタラクティブな機能を楽しむことができます。

Ⓓ

ディープカラー
Deep Color

8bit以上の色情報を扱える高色域規格の１つです。
Deep Color対応のテレビに接続することで、映像を8bit以上の高階調表示に変換して表示します。

ディーエルエヌエー　デジタル　リビング　ネットワーク　アライアンス
DLNA（Digital Living Network Alliance）

ホームネットワーク環境に接続したデジタル機器同士などを連携させて、かんたんに、便利に使用するための技術です。

ドルビー　デジタル
Dolby Digital

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ（2ch）はもちろん、サラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

ドルビー　デジタル　プラス
Dolby Digital Plus

ドルビーデジタルの改良版で、さらなる高音質、5.1ch以上の多チャンネル、より広いビットレートを実現しています。BD規格では最大7.1chまで対応しています。

ドルビー　トゥルーエイチディー
Dolby TrueHD

DVDオーディオで採用されているMLPロスレスの機能拡張版でスタジオマスターの音声データを完全に再生する高品位な音声方式です。BD規格では最大7.1chまで対応しています。

ディーティーエス　デジタル　シアター　システムズ
DTS（Digital Theater Systems）

映画館で多く採用されているサラウンドシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

ディーティーエスエイチディー
DTS-HD

映画館で採用されているDTSをさらに高音質/高機能化した音声方式で、下位互換性により従来のAVアンプでもDTSとして再生できます。BD規格では最大7.1chまで対応しています。

ディーティーエスエイチディー　ハイ　レゾリューション　オーディオ
DTS-HD High Resolution Audio

従来のDTS、DTS-ES、DTS96/24フォーマットを改良した信号フォーマットで、サンプリング周波数の96 kHz/48 kHz対応しています。BD規格では最大7.1chまで対応しています。

ディーティーエスエイチディー　マスター　オーディオ
DTS-HD Master Audio

ロスレス音声フォーマットで、最大96 kHz/7.1chに対応し、さらにロスレス音声符号化技術によってマスター音声の忠実な再現を可能としています。BD規格では最大7.1chまで対応しています。

Ⓗ

エイチディーエムアイ　ハイ デフィニション　マルチメディア　インターフェース
HDMI（High-Definition Multimedia Interface）

HDMIとは、デジタル機器向けのインターフェースです。従来の接続と違い、1本のケーブルで非圧縮のデジタル音声・映像信号を伝送することができます。

Ⓛ

エルピーシーエム　ピーシーエム
LPCM（リニアPCM）

CDなどで使われている、圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた音声信号です。

ロウ　トゥー　ハイ
LTH（Low to High）

有機色素系媒体を用いて記録するブルーレイディスクの新規格です。

Ⓟ

ピーシーエム　パルス　コード　モジュレーション
PCM（Pulse Code Modulation）

アナログ音声をデジタル音声に変換する方式の1つです。「パルス・コード・モジュレーション：パルス符号変調」の略で、手軽にデジタル音声が楽しめます。

②

24p

24コマ/秒で記録されたプログレッシブ（順次走査）方式です。

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

電源プラグを抜く

異常があったときには、電源プラグを抜く

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

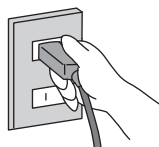
プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

⚠警告

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

分解、改造をしない

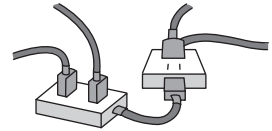
分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災･感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電池は誤った使いかたをしない

- **指定以外の電池を使わない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱･分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **⊕と⊖を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **⊕と⊖を逆に入れない**
- **新･旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

取り扱いを誤ると、液もれ･発熱･発火･破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

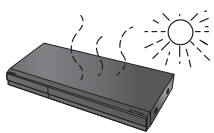
使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱･破裂の原因になります。

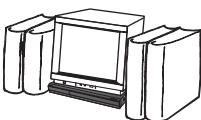
本機のイラスト(姿図)は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますがご了承ください。

⚠ 注意

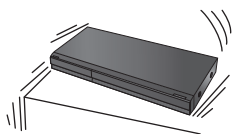
異常に温度が高くなるところに置かない

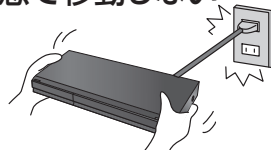
温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 後面の内部冷却ファンや側面の通風孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

不安定な場所に置かない

・高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させせようとすると、コードが傷つき、火災·感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災·故障の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災·感電の原因になることがあります。

長期間使わないときや、外装ケースのお手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクやSDカード、USB機器は、保護のため取り出しておいてください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

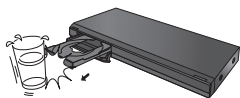
液もれ·発熱·発火·破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

ディスクトレイに指をはさまれないように注意する

指はさみ注意

けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

機器の前にものを置かない

リモコンの開/閉ボタンを押すと、離れた場所からディスクトレイを開くことができますが、開いたときに、ものに当たって倒れるなどで破損やけがの原因になることがあります。

- ガラス扉付きラックなどに入れてご使用の場合は、不用意に扉が開くことがあります。
- リモコンの開/閉ボタンを押すと、本機以外の当社製機器のディスクトレイも開くことがあります。
- 誤ってリモコンの開/閉ボタンを押さないようご注意ください。

⚠ 注意

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D映像を視聴しない

病状悪化の原因になることがあります。

3D映像を視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- 適度な休憩をとってください。

3D映像の視聴年齢については、およそ5～6歳以上を目安にする

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。

- お子様が視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

3D映画などを視聴する場合は1作品の視聴を目安に適度に休憩をとる

長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・使いかた・お手入れなどは･･･

■ まず、お買い求め先へご相談ください

▼ お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電話	（	）	－
お買い上げ日	年	月	日

修理を依頼されるときは…

「故障かな！？」(⇨ 37 ～39）でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

- **製品名**　ブルーレイディスクプレーヤー
- **品　番**　DMP-BDT900
- **故障の状況**　できるだけ具体的に

- **保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。**
  保証期間　：お買い上げ日から本体 1 年間
- **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。**

※　修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※　補修用性能部品の保有期間　8 年
当社は、このブルーレイディスクプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

※　「よくある質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support

- **修理に関するご相談は** ････････････････････

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 携帯･PHS OK **0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地の「修理ご相談窓口」におかけください。

- **使いかた・お手入れなどのご相談は** ････････

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 携帯･PHS OK **0120-878-365**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**
■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※　ご使用の回線（ＩＰ電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談におけるお客様に関する情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。
併せて、お問い合わせ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。
また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいておりますので、ご了承願います。
当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	窓口	電話番号	所在地
北海道地区	札 幌	☎ (011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭 川	☎ (0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯 広	☎ (0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函 館	☎ (0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青 森	☎ (017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋 田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩 手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮 城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山 形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福 島	☎ (024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃 木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群 馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨 城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼 玉	☎ (048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千 葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東 京	☎ (03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山 梨	☎ (055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新 潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石 川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富 山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福 井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長 野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静 岡	☎ (054)287-9000	静岡市葵区千代田7丁目7-5
	愛 知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐 阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	高 山	☎ (0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
	三 重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋 賀	☎ (077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京 都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大 阪	☎ (06)6359-6225	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈 良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵 庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥 取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米 子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松 江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出 雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜 田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡 山	☎ (086)242-6236	岡山市北区田中138-110
	広 島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山 口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香 川	☎ (087)868-6388	高松市勅使町152-2
	徳 島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高 知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛 媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福 岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐 賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長 崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大 分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮 崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊 本	☎ (096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	天 草	☎ (0969)22-3125	天草市港町18-11
	鹿児島	☎ (099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大 島	☎ (0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖 縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html 1109

さくいん

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

弊社ではより良い商品とサービスをお客様にご提供できるようにパナソニック商品をご購入の方にご愛用者登録をお願いしています。ぜひ、この機会にご愛用者登録をお願いいたします。

※皆様の貴重なご意見を、製品の開発や改善の参考とさせていただきたいと思いますので、アンケートにもご協力いただきますようお願い申し上げます。

特典１	**家電情報をまとめて登録／管理** 購入年月や製造番号などをMy家電リストに保存できます。
特典２	**商品情報をスムーズに入手** Q&Aや取扱説明書など、商品に関する情報が見られます。
特典３	**エンジョイポイントがたまる** たまったポイントでプレゼントに応募できます。

登録はこちらから PC http://club.panasonic.jp/ 携帯 http://mobile.club.panasonic.jp/

※このサービスはWEB限定のサービスです。

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検　長年ご使用のブルーレイディスクプレーヤーの点検を！

こんな症状はありませんか		ご使用中止	
	● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 映像や音声が出ないことがある ● 内部に水や異物が入った ● 本体に変形や破損した部分がある ● その他の異常や故障がある	▶	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社
AVC ネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒 571－8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

VQT2N66
F0310SK0